

Ⅱ 施策評価・進捗管理調書

京丹後市教育振興計画 施策評価・進捗管理調書(内部評価結果)

担当課 子ども未来課	担当課長 蒲田 幸宏
---------------	---------------

重点目標	1	就学前の子どもの教育・保育環境を充実します
基本の方針	就学前の子どもの健やかな育ちを確保するため、保育ニーズに応じた保育環境の整備はもとより、保育士や教員の資質向上及び専門性を高めるために研修機会を設けるとともに、教育・保育を総合的に提供できる環境づくりに取り組みます。また、小学校への円滑な接続を図るため、保育所、認定こども園及び小学校の連携を強化します。 地域や家庭で安心して子育てができるよう、地域の実情や保護者のニーズを的確に把握しサービス情報の周知徹底を図るとともに、子育てや就学前教育についての情報交換や気軽に相談する場の確保に努めます。	

1. 施策の方向性 PLAN

1. 就学前教育の環境整備	①保護者の就労状況等や家庭環境に関わらず、就学前の教育・保育を総合的に提供できる環境整備を進め、待機児童ゼロの継続を目指します。 ②子育て家庭の子育ての不安に寄り添いサポートする体制の強化を図ります。 ③職員自身の自主的な資質向上を促すため、保育所・認定こども園の全職員を対象とした研修や担任会、公開保育の実施、職員の交流機会の充実を図ります。 ④保育所の民営化に伴い、長時間保育や休日保育の実施などサービスの拡充を行っています。今後も需要の高まりが想定できることから、さらなる民営化を検討していきます。
2. 保育所、認定こども園及び小学校の連携強化	①「京丹後市小中一貫教育保幼小接続モデルプラン」を参考に、各学園(中学校区)の接続プランを充実させて、就学前教育・保育と小学校教育の円滑な接続を図るための取組みを一層進めます。

【参考】施策に関連するその他の計画

計画名称	計画概要	策定年月	計画期間	備考
第2次京丹後市総合計画	市の目指す基本理念、目標、将来像などを示した「基本構想」と、その構想を実現するための各種施策を総合的、計画的に体系化した「基本計画」	平成27年3月	平成27年度～平成36年度	
京丹後市保育所再編等推進計画	将来にわたり子どもたちにとってより良い保育を保障するため、地域の特性に配慮しながら、小規模保育所等の統廃合及び社会福祉法人への運営委託等を具体的に進めるために策定	平成23年3月	平成23年度～平成27年度	第2次京丹後市保育所再編等推進計画を策定(平成29年度～平成33年度)
京丹後市子ども・子育て支援事業計画	市における子どもの健やかな育ちと保護者の子育てを社会全体で支援する環境づくりを一層進めるため策定	平成27年3月	平成27年度～平成31年度	第2期京丹後市子ども・子育て支援事業計画を策定(令和2年度～令和6年度)

2. 主な取組と構成事務事業一覧

PLAN
DO

※各事業の成果・課題については、別紙決算附属資料参照

CHECK
ACT

1. 就学前教育の環境整備		決算額(単位:千円)			事務の改善
主な取り組み		R3決算額	R4決算額	R5予算額	評価を踏まえた今後の方向性
↓	事務事業名称・事業内容(実績)				
① 保護者の就労状況等や家庭環境に関わらず、就学前の教育・保育を総合的に提供できる環境整備を進め、待機児童ゼロの継続を目指します。 ② 子育て家庭の子育ての不安に寄り添いサポートする体制の強化を図ります。 ③ 職員自身の自主的な資質向上を促すため、保育所・認定こども園の全職員を対象とした研修や担任会、公開保育の実施、職員の交流機会の充実を図ります。 ④ 保育所の民営化に伴い、長時間保育や休日保育の実施などサービスの拡充を行っています。今後も需要の高まりが想定できることから、さらなる民営化を検討していきます。					
1	保育所管理運営事業	子ども未来課			
	児童の健康管理や会計年度任用職員を任用するほか、給食調理業務、幼児送迎業務等を実施し、円滑な保育所運営を行う。	165,631	157,131	175,553	現状維持
2	保育業務委託事業	子ども未来課			
	保育ニーズに対応するため、民間保育所等に保育業務を委託することで、効率的に子育て支援を推進する。	511,434	399,884	319,712	現状維持
3	保育所保育事業等補助金	子ども未来課			
	民間保育所等が行う事業に対して補助金を交付し、円滑な運営実施のための体制づくり等を推進するとともに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止及び保育士等の処遇改善を図る。	32,144	44,351	44,730	現状維持
4	子育て支援センター事業	子ども未来課			
	地域の子育て支援の拠点として市内8か所に子育て支援センターを設置し、育児相談や子育て情報の提供等、在宅で子育てをしている保護者とその子どもたちを支援する。	20,805	22,982	35,556	現状維持

1. 就学前教育の環境整備		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		R3決算額	R4決算額	R5予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
5	保育支援事業 保護者の疾病等の理由により家庭での養育が一時的に困難となった児童や病気の回復期にある児童を一時的に保育し、保護者の子育てと就労を支援する。	子ども未来課	4,064	4,326	5,697	拡大
6	子育て環境整備事業 市内の子育て環境の充実を図るため、子育て支援団体や子育て支援活動、授乳用設備やおむつ交換台などを整備する市内の事業所等に補助金を交付するほか、市施設の子育て支援に資する設備を整備する。	子ども未来課	1,181	2,941	6,000	拡大
7	認定こども園教育利用管理運営事業 児童の健康管理や会計年度任用職員の任用により、円滑な認定こども園(1号認定児)運営を行う。また、私立認定こども園に対し施設給付を行う。	子ども未来課	54,728	78,418	94,057	現状維持
8	認定こども園保育利用管理運営事業 児童の健康管理や会計年度任用職員の任用により、円滑な認定こども園(2号・3号認定児)運営を行う。また、私立認定こども園に対し施設給付を行う。	子ども未来課	706,983	836,420	992,823	拡大
2. 保育所、認定こども園及び小学校の連携強化		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		R3決算額	R4決算額	R5予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
①「京丹後市小中一貫教育保幼小接続モデルプラン」を参考に、各学園(中学校区)の接続プランを充実させて、就学前教育・保育と小学校教育の円滑な接続を図るための取り組みを一層進めます。						
9	保幼小中一貫教育推進事業 「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき、保幼小中一貫教育の推進に向け、協議会及び専門部会で調査研究を行う。また、研修等を実施し、指導の一貫性を通じて子どもたちの確かな学力、豊かな心を育成するとともに、「丹後学」の充実を図る。	学校教育課	189	449	874	現状維持
上記の「主な取り組み」への位置付けが困難な事業		決算額(単位:千円)			事務の改善	
事務事業名称・事業内容(実績)		担当課	R3決算額	R4決算額	R5予算額	評価を踏まえた今後の方向性
↓						
10	保育所施設管理事業 適切な維持管理のもと、施設を利用する児童、職員が安全かつ快適に過ごすことができるよう必要な点検・整備を実施する。	子ども未来課	10,857	4,886	7,875	拡大
11	認定こども園施設管理事業 適切な維持管理のもと、必要な点検・整備を実施し、施設を利用する児童、職員が安全かつ快適に過ごすことができる環境を整える。	子ども未来課	15,876	7,768	12,105	現状維持
12	保育所等環境整備事業 公設公営保育施設における保育業務の負担軽減及び保護者の利便性の向上を図るため、保育業務支援システムを導入する。	子ども未来課	34,191	-	-	終了・廃止
13	ファミリーサポートセンター事業 子どもの預かり等の援助を受ける方、援助を行う方からなる会員同士の援助活動を調整し、概ね生後2か月から小学校3年生までの子どもを持つ家庭の子育てを支援する。	子ども未来課	62	61	103	現状維持
14	子ども未来まちづくり審議会事業 すべての子どもが健康で幸せに暮らせるまちづくりの推進及び子ども・子育て支援事業計画の進捗管理、特定教育・保育施設の利用定員の設定等について審議する。	子ども未来課	119	36	138	現状維持
計			1,558,264	1,559,653	1,695,223	

3. 教育振興計画で掲げている主な目標指標

基本的方針	就学前の子どもの健やかな育ちを確保するため、保育ニーズに応じた保育環境の整備はもとより、保育士や教員の資質向上及び専門性を高めるために研修機会を設けるとともに、教育・保育を総合的に提供できる環境づくりに取り組みます。また、小学校への円滑な接続を図るため、保育所、認定こども園および小学校の連携を強化します。 地域や家庭で安心して子育てができるよう、地域の実情や保護者のニーズを的確に把握しサービス情報の周知徹底を図るとともに、子育てや就学前教育についての情報交換や気軽に相談する場の確保に努めます。							
主な目標指標	目標指標	単位	計画作成時		実績値(現状)		目標値	
			年度	年度	年度	年度		
	病後児保育の実施事業所数	か所	0	H25	1	R4	1	R6
	子育て支援センター数	か所	7	H25	8	R4	8	R6
	一時預かり実施事業所数	か所	6	H25	10	R4	10	R6
	保育所・こども園職員の全体研修数	回	3	H25	3	R4	5	R6
	保育所・こども園待機児童数ゼロの継続	人	-	H25	0	R4	0	R6
民営化保育所設置数	か所	-	H25	4	R4	6	R6	

4. 施策の進捗状況の評価と今後の課題[基本的方針の達成に向け、施策がどの程度進捗しているか]

CHECK

ACT

進捗状況区分	評価	令和4年度成果と今後の課題
◎ 予定以上に進んでいる	○	<p>《病後児保育の実施事業所数》 保護者の就労支援のため、子どもが病気の後であっても安心して預けられる環境が整えられている。課題としては、特に子育て世代に、この制度の存在を伝える広報活動の推進がある。</p> <p>《子育て支援センター数》 市内8か所で開設しており、子育て相談に対応するとともに、子育て世代間の友達づくり、情報共有など居場所を提供することができた。スペースの関係で児童の年齢に応じたクラス編成により、利用の曜日を決めるという調整をせざるを得ない点が課題となっていることから、網野地域子育て支援センター(旧浅茂川保育所)において、市内他地域からの受け入れも行っている。</p> <p>《一時預かり実施事業所数》 平成28年度から、大宮北保育所とこうりゅう保育所を公設民営に移行させたことに伴い、両施設とも一時預かりを開始して、サービスの向上を図ることができている。</p> <p>《保育所・こども園職員の全体研修数》 新型コロナウイルス感染防止対策のため、オンラインでの開催も含め多くの職員が研修を受ける体制がとれた。職員の資質向上は、教育・保育を提供する上で課題でもあり、担任会や園長・所長研修、園内研修など身近なところで研修の機会を設けて研鑽している状況である。</p> <p>《保育所・こども園待機児童数ゼロの継続》 保育所、こども園への入所・入園率が高くなっている状況の中、保育従事者が不足している状況ではあるが、体制を整備し、待機児童ゼロを継続することができた。</p> <p>《民営化保育所設置数》 現在4施設で民営化しており、今後2か所の民営化を検討しているが、保育従事者の不足から受託法人がない状態であることから、状況を見極めながら推進していきたい。</p>
○ 予定どおり進んでいる		
▲ 少し遅れている		
× 大幅に遅れている		

5. 今後の施策展開の考え方(令和5年～令和6年度までの主な取組)

ACT

区分	No.	具体的内容
施策展開の考え方	1	保育所の利用において、0～2歳の低年齢児の利用は継続的なニーズがあることから、このニーズに応える保育所の運営を続けるとともに、令和2年3月に策定した第2期京丹後市子ども・子育て支援事業計画と整合性を図りつつ、今後も子育て支援の施策の充実を図る。
	2	「京丹後市小中一貫教育保幼小接続モデルプラン」を参考に、各学園で保幼小の情報共有や教職員の交流と相互理解を深めるなど、小学校教育への円滑な接続を図るための取組みの充実を図る。

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局						
	項	02 児童福祉費							157,131千円	161,922千円	4,791千円	97.0%		
	目	04 保育事業費											(参考)当初予算額	200,162千円
	事業	02 保育所管理運営事業												
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進													
目的	児童の健康管理や会計年度任用職員を任用するほか、給食調理業務、幼児送迎業務等を実施し、円滑な保育所運営を行う。	主な財源	負担金 保育認定児保育料、日本赤十字振興財団-保護者負担金 12,335千円 国補 新型コウカイ感染症対応地方創生臨時交付金 700千円 国補 子ども子育て支援体制整備総合推進事業費補助金(1/2)、保育士等処遇改善臨時特別交付金(10/10)ほか 2,375千円 府補 第3子以降保育料無償化事業費補助金、子ども子育て支援交付金(1/3)ほか 2,728千円 繰入金 ひるさと応援基金繰入金 70,000千円 諸収入 広域入所児童受託保育料、保育所職員研修費補助金 821千円											
主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○健康管理実施経費 2,210千円 医師報酬・費用弁償、児童検診委託料、大腸菌等検査手数料等 ○会計年度任用職員任用経費(41人) 81,135千円 報酬、手当、共済費(社会保険料等)、傷害保険料等 ○職員研修実施経費 157千円 報償費(研修講師謝金)、職員旅費、研修参加負担金 ○給食調理業務委託 31,563千円 島津、たちばな、宇川、久美浜 ○保育所送迎車両運送経費(4台) 9,101千円 業務委託経費、修理費、燃料費、自動車重量税等 ○入所児童の保育に要する経費 16,515千円 保育材料費、賄材料費 ○保育所の運営に要する経費 14,239千円 光熱水費、通信運搬費、備品購入費、ピアノ調律等 ○新型コロナウイルス感染症対策経費 1,540千円 消耗品費(手指消毒液等)、備品購入費(サーモグラフィカメラ4台等) ○その他必要経費(共通物品、保育協会負担金等) 671千円 		<p>(参考)京丹後市内の保育所(R5.3.31現在) 計7施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公立(公設公営): 島津、たちばな、宇川、久美浜 ・公立(公設民営): 大宮北 ・私立: あみの夢保育園、ゆうかり乳児保育所 <table border="1"> <tr> <td>参考</td> <td>繰越明許費を除いた最終予算額</td> <td>161,047千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実質的な予算執行率</td> <td>97.5%</td> </tr> </table> <p>■令和5年度への繰越事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 保育所送迎用バス安全装置設置事業(令和5年7月完了) 875千円 		参考	繰越明許費を除いた最終予算額	161,047千円		実質的な予算執行率	97.5%				
	参考	繰越明許費を除いた最終予算額	161,047千円											
	実質的な予算執行率	97.5%												
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○職員確保、児童・職員の健康管理、給食提供、送迎バスの運行管理などの業務を適切に行うことにより、円滑な保育所運営を行うことができた。 ○サーモグラフィカメラ、サーキュレーター等を購入し、新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図った。 ○保育士等の処遇改善に係る国からの協力要請を受け、国の交付金を活用し、会計年度任用職員の保育士等の賃金改善を行った。 ○乳児利用の増加に対応するため、引き続き職員体制の確保が必要である。 													

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局						
	項	02 児童福祉費							399,884千円	400,347千円	463千円	99.8%		
	目	04 保育事業費											(参考)当初予算額	440,228千円
	事業	03 保育業務委託事業												
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進													
目的	保育ニーズに対応するため、民間保育所等に保育業務を委託することで、効率的に子育て支援を推進する。	主な財源	負担金 保育認定児保育料 28,195千円 国・国補 子どものための教育・保育給付交付金(1/2)、子ども子育て支援交付金(1/3) 96,230千円 府・府補 子どものための教育・保育給付交付金(1/4)、子ども子育て支援交付金(1/3) 38,195千円 諸収入 一時預かり事業利用料 325千円 諸収入 延長保育料 212千円											
主要な事務・事業の概要	<p>民間認可保育所の「ゆうかり乳児保育所」に2か月児から2歳児まで、「あみの夢保育園」に6か月児から5歳児までの保育を委託し、また、市立保育所のうち「大宮北保育所」の運営を社会福祉法人に委託することにより、産休明け・育休明けの保育所利用、保育時間の延長や休日保育等、保護者の保育ニーズに対応した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○乳児保育委託料 81,170千円 ・ゆうかり乳児保育所 定員30人 令和5年3月末入所児童数: 36人 ○公立保育所運営委託料 206,336千円 ・大宮北保育所 定員230人 令和5年3月末入所児童数: 215人 ○保育所運営委託料 111,641千円 ・あみの夢保育園 定員90人 令和5年3月末入園児童数: 99人 		<ul style="list-style-type: none"> ○広域入所委託料 737千円 里帰り出産等で京丹後市以外の施設を利用した児童数: 3人 [委託先] ・みかたの森こども園(私立・豊岡市1人) 208千円 ・ヘアスガール国際自然こども園(私立・姫路市1人) 157千円 ・おもしろたのし みえこども園(私立・豊岡市1人) 372千円 											
	成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○保育業務を民間事業者に委託することで、保育時間の延長や休日保育など保護者のニーズに対応した保育を実施し、保護者の子育てと仕事の両立支援につなげることができた。 ○保育業務を他の自治体や市外の民間事業者に委託することで、保護者の里帰り出産等のニーズに対応した。 												

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	02 児童福祉費	44,351千円	44,703千円	352千円	99.2%		
	目	04 保育事業費				(参考)当初予算額	子ども未来課	
	事業	04 保育所保育事業等補助金				52,540千円		
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進		主な財源	国補	子ども・子育て支援交付金(1/3)、保育対策総合支援事業費補助金(1/2)	3,121千円		
目的	民間保育所等が行う事業に対して補助金を交付し、円滑な運営実施のための体制づくり等を推進するとともに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止及び保育士等の処遇改善を図る。		国補	保育士等処遇改善臨時特例交付金(10/10)	9,606千円			
			国補	保育所等整備交付金	3,918千円			
			府補	子ども・子育て支援交付金(1/3)、保育対策総合支援事業費補助金(1/2)	4,360千円			
			府補	認定こども施設整備補助金	259千円			
			府補	新型コロナウイルス感染症対策事業費補助金	1,100千円			
主要な事務・事業の概要	○私立保育所保育事業補助金	21,658千円	○保育士等処遇改善臨時特例補助金	9,606千円				
	・ゆうかり乳児保育所	800千円	・ゆうかり子ども園(対象保育士等 61人)	2,472千円				
	・あみの夢保育園	3,097千円	・ゆうかり乳児保育所(対象保育士等 21人)	1,087千円				
	・こうりゅう虹こども園	7,782千円	・大宮北保育所(対象保育士等 58人)	2,819千円				
	・ゆうかり子ども園	9,979千円	・あみの夢保育園(対象保育士等 28人)	1,601千円				
	○私立保育所等施設整備事業補助金	6,088千円	・こうりゅう虹こども園(対象保育士等 39人)	1,627千円				
	・ゆうかり子ども園							
	建物修繕費(手洗い・保育室照明・保育室入口扉改修)							
	○保育所等新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策事業補助金	6,599千円						
	・ゆうかり子ども園(エアコン設置等)	1,970千円						
・ゆうかり乳児保育所(ルームエアコン等)	550千円							
・大宮北保育所(室内用オゾン発生器等)	700千円							
・あみの夢保育園、こうりゅう虹こども園(自動水栓付手洗器等)	2,429千円							
・丹後中央病院たぶの木保育所(空気清浄機等)	400千円							
・ばんびへのばんびな保育園(ペーパータオル・プラスチック手袋等)	550千円							
○病院事業会計繰出金	400千円							
・久美浜病院院内保育所(手指消毒液・エプロン・テーブル等)								
			参考	繰越明許費を除いた最終予算額	44,353千円			
				実質的な予算執行率	99.9%			
				■令和5年度への繰越事業				
				園児送迎用バス安全装置設置支援事業補助金	350千円			
				(令和5年7月完了)				
			成果・課題	○延長保育、一時預かり及び障害児保育等を推進し、子育て支援と仕事の両立支援を図った。 ○新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のための支援を行った。 ○保育士等の処遇改善に係る国からの協力要請を受け、国の交付金を活用し、保育士等の処遇改善を支援した。				

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	02 児童福祉費	22,982千円	23,510千円	528千円	97.7%			
	目	02 子育て支援費				(参考)当初予算額	子ども未来課		
	事業	03 子育て支援センター事業				25,204千円			
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進		主な財源	国補	子ども・子育て支援交付金(1/3)	6,240千円			
目的	地域の子育て支援の拠点として市内8か所に子育て支援センターを設置し、育児相談や子育て情報の提供等、在宅で子育てをしている保護者とその子どもたちを支援する。		府補	子ども・子育て支援交付金(1/3)	6,240千円				
			諸収入	網野地域子育て支援センター-光熱水費負担金	2千円				
			市債	子育て支援センター-施設整備事業債(合併特例債)	900千円				
主要な事務・事業の概要	保育所及びこども園の入所、入園前の子どもを持つ家庭のため、保護者の育児相談・交流の場及び子ども同士のふれあいの場として、8か所の支援センターを設置し、地域に密着した子育て支援を推進した。 網野地域子育て支援センターでは、市内各支援センター登録者を対象として、週3日開放日を設けることにより子育て支援を推進した。	○会計年度任用職員任用経費(指導員:14人分)	16,875千円	・支援センター利用人数		・なかよし広場(月1回)			
		○通信運搬費(電話代)	234千円	支援センター	児童	保護者	実施月	児童	保護者
		○光熱水費	822千円	峰山	1,184人	1,195人	4~11	コロナ対策のため中止	
		○消耗品費等	1,223千円	大宮北	1,372人	1,233人	12	18人	18人
		○網野地域子育て支援センター浄化槽維持管理業務委託料	233千円	大宮南	717人	708人	1	13人	13人
		○網野地域子育て支援センター漏水修理	262千円	網野	2,101人	1,941人	2	19人	19人
		○網野地域子育て支援センター浄化槽解体及び下水道接続工事設計委託料	1,001千円	丹後	744人	588人	3	22人	24人
		○こうりゅう地域子育て支援センター運営委託料(こうりゅう虹こども園)	2,332千円	弥栄	1,024人	794人	合計	72人	74人
				かぶと山	712人	634人	・子育て交流会		
				こうりゅう	634人	639人	開催日	児童	保護者
		合計	8,488人	7,732人	10月28日	55人	53人		
					11月15日	25人	23人		
					合計	80人	76人		
			成果・課題	○保育所及びこども園の入所、入園前の子育て家庭のため、子育て相談や遊びの場を提供することにより、子育てに対する不安の解消や保護者同士のコミュニケーションの促進を図ることができた。 ○妊婦開放日を含め各支援センターでの開放日の拡充を図る。					

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局					
	項	02 児童福祉費						4,326千円	4,384千円	58千円	98.6%	課	子ども未来課
	目	02 子育て支援費											
	事業	04 保育支援事業											
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進		国補	子ども・子育て支援交付金 (1/3)	1,034千円								
目的	保護者の疾病等の理由により家庭での養育が一時的に困難となった児童や病気の回復期にある児童を一時的に保育し、保護者の子育てと就労を支援する。		主な財源	国補	子育てのための施設等利用給付交付金 (1/2)	611千円							
				府補	子ども・子育て支援交付金 (1/3)	1,034千円							
				府補	子育てのための施設等利用給付交付金 (1/4)	305千円							
主要な事務・事業の概要	○子育て短期支援事業委託料 (延べ利用児童数等)	123千円		○認可外保育施設等給付費 [認可外保育施設(こどもの森保育園 与謝野町)]	1,221千円								
	・0、1歳児 生活保護・ひとり親非課税世帯 6人 非課税・ひとり親課税世帯 0人 その他の世帯 4人			・支給児童数 3人(3世帯)※5歳児(2号認定児)、3歳児(2号認定児)									
	・2歳児以上 生活保護・ひとり親非課税世帯 0人 非課税・ひとり親課税世帯 0人 その他の世帯 0人			・支給額 888千円(37千円/月×12か月)×2人 333千円(37千円/月×9か月)×1人									
○病後児保育事業委託料 (延べ利用児童数) 0人	2,957千円		○日用品費等援助費	25千円									
	常に利用可能な体制(看護師の常駐)を維持するため、子ども・子育て支援交付金要綱で定められた基本額で業務委託している。			・支給児童数 8人(7世帯) ※5歳児2人(2号認定児)、4歳児1人(1号認定児)、 3歳児5人(1号認定児1人、2号認定児4人)									
				・対象費用 教材費・行事費等									
				成果・課題	○保護者の育児負担の軽減など一時的な利用があり、養育を必要とする児童及びその家庭の福祉向上につなげることができた。 ○病後児保育の利用はなかったが、引き続き病気の回復期にある児童を一時的に保育できるよう受入体制を確保する。 ○認可外保育施設等の利用費を対象者に給付し、幼児教育・保育無償化に対応した。 ○低所得世帯の教材費、行事への参加に要する費用等の一部を助成することで、対象家庭の経済的負担を軽減した。								

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局					
	項	02 児童福祉費						2,941千円	2,942千円	1千円	99.9%	課	子ども未来課
	目	02 子育て支援費											
	事業	05 子育て環境整備事業											
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進		国補	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	420千円								
目的	市内の子育て環境の充実を図るため、子育て支援団体や子育て支援活動、授乳用設備やおむつ交換台などを整備する市内の事業所等に補助金を交付するほか、市施設の子育て支援に資する設備を整備する。		主な財源	繰入金	ふるさと応援基金繰入金	2,000千円							
主要な事務・事業の概要	○子育て環境整備応援プロジェクト補助金	2,742千円		【子育て環境支援施設整備事業】	5施設 990千円								
	【子育て団体支援事業】 2団体 1,524千円			市内の事業所及び店舗が子育て支援環境整備を行う事業									
	市内において、子育て世帯が多世代と交流することができる場を提供し、かつ、継続して子育てに関する情報交換や相談等を行う事業			・補助対象者	子育て世帯が利用することが想定される市内の事業所又は市内に店舗を有するもの								
	・補助対象者	市内で子育て支援事業に取り組む非営利団体		・補助対象経費	①授乳用設備(授乳用机・椅子等)の整備経費								
	・補助対象経費	活動に係る人件費、活動拠点の家賃又は改修に係る経費、イベント等経費			②おむつ替え設備(おむつ交換台等)の整備経費								
	・補助金額	上限1,000千円/団体			③トイレ内ベビーキーパー設備の整備経費								
	【子育て活動支援事業】 4団体 228千円			・補助金額	上限200千円/事業所等								
	子育てに関する交流イベント等を市内において開催する事業			○弥栄庁舎多目的トイレ改修(おむつ交換台1基設置)	199千円								
	・補助対象者	市内で子育て支援に取り組むもの		成果・課題	○子育て支援に取り組む団体・個人を支援することにより、地域の子育て支援者や子育て世帯が集い、情報交換や交流の場を提供することができた。								
	・補助対象経費	イベント等経費、使用料及び賃借料			○市内事業所のおむつ替え施設等の整備を支援したほか、弥栄庁舎の多目的トイレにおむつ交換台を設置し、市内の子育て環境の充実を図った。								
	・補助金額	上限100千円/団体			○子育て環境の充実に向け、団体・事業所への支援が引き続き必要である。								

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部 教育委員会事務局
	項	02 児童福祉費	78,418千円	79,129千円	711千円	99.1%	
	目	04 保育事業費				(参考)当初予算額	
	事業	06 認定こども園教育利用管理運営事業				82,643千円	
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進						
目的	児童の健康管理や会計年度任用職員の任用により、円滑な認定こども園（1号認定児）運営を行う。また、私立認定こども園に対し施設給付を行う。	主な財源	負担金	教育認定児保育料		1,783千円	
			国負	子どものための教育・保育給付交付金（1/2）		14,146千円	
			国補	保育士等処遇改善臨時特例交付金（10/10）・子ども・子育て支援交付金（1/3）		9,783千円	
			府負	新型コロナウイルス感染症対策事業費補助金（10/10）		19千円	
			府補	子どものための教育・保育給付交付金（1/4）・子ども・子育て支援交付金（1/3）		21,493千円	
			諸収入	教育認定児預かり保育料		1,298千円	
主要な事務・事業の概要	○健康管理実施経費	903千円	(参考)京丹後市内の幼保連携型認定こども園（R5.3.31現在） ・公立：峰山、大宮、網野、丹後、弥栄、かぶと山 ・私立：ゆうかり子ども園、こうりゅう虹こども園				
	○会計年度任用職員任用経費（13人） 共済費（社会保険料等）、報酬等、手当	38,486千円					
	○こども園運営に要する経費 備品購入費（絵本）	125千円					
	○日本スポーツ振興センター負担金	24千円					
	○認定こども園施設給付費 ゆうかり子ども園：3歳以上児の幼児教育業務（1号認定児） 定員12人 令和5年3月末入園児童数：3人 こうりゅう虹こども園：3歳以上児の幼児教育業務（1号認定児） 定員9人 令和5年3月末入園児童数：12人	38,861千円					
○新型コロナウイルス感染症対策関連経費 消耗品費（手指消毒液等）	19千円	成果・課題	○職員確保、児童・職員の健康管理などの業務を適切に行うことにより、円滑なこども園運営を行うことができた。 ○保育士等の処遇改善に係る国からの協力要請を受け、国の交付金を活用し、会計年度任用職員の保育士等の賃金改善を行った。				

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部 教育委員会事務局
	項	02 児童福祉費	836,420千円	849,273千円	12,853千円	98.4%	
	目	04 保育事業費				(参考)当初予算額	
	事業	07 認定こども園保育利用管理運営事業				902,518千円	
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進						
目的	児童の健康管理や会計年度任用職員の任用により、円滑な認定こども園（2号・3号認定児）運営を行う。また、私立認定こども園に対し施設給付を行う。	主な財源	負担金	保育認定児保育料		67,054千円	
			国補	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金		1,000千円	
			国負・国補	子どものための教育・保育給付交付金（1/2）、保育対策総合支援事業費補助金（1/2） ほか		124,833千円	
			府負・府補	子どものための教育・保育給付交付金（1/4）、第3子以降保育料無償化事業費補助金 ほか		60,613千円	
			繰入金	ふるさと応援基金繰入金		60,000千円	
			諸収入	一時預かり事業利用料、職員給食費 ほか		15,672千円	
主要な事務・事業の概要	○健康管理実施経費	4,664千円	○認定こども園施設給付費 ゆうかり子ども園：6か月児～5歳児の保育業務（2号及び3号認定児） 定員138人 令和5年3月末入園児童数：155人 こうりゅう虹こども園：6か月児～5歳児の保育業務（2号及び3号認定児） 定員120人 令和5年3月末入園児童数：107人				
	○会計年度任用職員任用経費（188人） 報酬、手当、共済費（社会保険料等）等	408,436千円					
	○職員研修実施経費 職員旅費等	337千円					
	○給食調理業務委託 調理業務委託料（大宮、かぶと山）	29,425千円					
	○こども園送迎車両関連経費（17台） 業務委託経費、修理費、自動車重量税等	25,791千円					
	○入園児童の保育に要する経費 保育材料費、賄材料費、医薬材料費	73,544千円					
	○こども園の運営に要する経費 光熱水費、通信運搬費、備品購入費、廃家電処理、ピアノ調律等	52,419千円					
	○新型コロナウイルス感染症対策経費 消耗品費（手指消毒液等）、備品購入費（加湿空気清浄機等）	2,224千円					
	○その他必要経費 共通物品、全国公立幼稚園・こども園長会負担金等	1,475千円					
							成果・課題
		参考	線越明許費を除いた最終予算額		846,473千円		
			実質的な予算執行率		98.8%		
			■令和5年度への繰越事業 認定こども園送迎バス安全装置設置事業 (令和5年7月完了) 2,800千円				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部 課	教育委員会事務局 学校教育課
	項	01 教育総務費	449千円	554千円	105千円	81.0%						
	目	02 事務局費										
	事業	14 保幼小中一貫教育推進事業										
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実											
目的	「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき、保幼小中一貫教育の推進に向け、協議会及び専門部会で調査研究を行う。 また、研修等を実施し、指導の一貫性を通じて子どもたちの確かな学力、豊かな心を育成するとともに、「丹後学」の充実を図る。		主な財源									
主要な事務・事業の概要	○保幼小中一貫教育研究推進協議会（委員謝金、費用弁償）		71千円	○授業実践力向上研修会（講師謝金、消耗品費）		44千円						
	・委員 14人（学識経験者、PTA役員、学校教職員等）			開催日：令和4年10月11日（火）			対象：市内小中学校教員、教育関係者 参加者：95人					
	・開催回数 2回（12月・3月）			講師：尾崎 正彦 氏（関西大学初等部 教諭）			内容：児童生徒の学力向上を目指し、実際の授業を通じた指導方法を学ぶ					
	・調査研究内容 保幼小中一貫教育実施校における効果と課題の整理			○教育フォーラムの開催（講師謝金、消耗品費）		155千円						
○学校教育連携専門部会			開催日：令和5年1月22日（日）			対象：市内学校園所教員、教育関係者、市民ほか 参加者：102人						
・委員 7人			講師：平田 オリザ 氏（芸術文化観光専門職大学 学長）			内容：保幼小中一貫教育の方向性の周知及び連携体制の強化のための講演						
・開催回数 2回（10月・1月）			○調査研究		95千円							
・調査研究内容 丹後学モデルカリキュラムの改定			小中一貫教育全国サミット（開催地：福岡県飯塚市） 出席者：1人			成果・課題						
○丹後学モデルカリキュラムの改定（印刷製本費）		84千円	※SDGsの視点を盛り込んだカリキュラムの改定、作成（教職員用400部）			○保幼小中一貫教育研究推進協議会及び学校教育連携専門部会による研究と検証を積み重ね、保幼小中一貫教育推進基本計画に基づく各学園の取組評価等をPDCAサイクルにより進めることができた。						
○丹後学モデルカリキュラムの改定（印刷製本費）		84千円	※SDGsの視点を盛り込んだカリキュラムの改定、作成（教職員用400部）			○児童生徒の学力向上のための指導方法を学ぶ機会として研修会を開催することができた。また、本市の保幼小中一貫教育の取組について広く市民への周知を行う機会として、教育フォーラムを開催することができた。						
○丹後学モデルカリキュラムの改定（印刷製本費）		84千円	※SDGsの視点を盛り込んだカリキュラムの改定、作成（教職員用400部）			○丹後学モデルカリキュラムを改定し、指導の一貫性・連続性に着目した授業改善に向け、各学校に配付、活用した。						

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部 課	教育委員会事務局 子ども未来課
	項	02 児童福祉費	4,886千円	5,098千円	212千円	95.8%						
	目	04 保育事業費										
	事業	05 保育所施設管理事業										
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進		主な財源									
目的	適切な維持管理のもと、施設を利用する児童、職員が安全かつ快適に過ごすことができるよう必要な点検・整備を実施する。		負担金 保育認定児保育料 1,096千円 国補 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 600千円 府補 第3子以降保育料無償化事業費補助金 59千円									
主要な事務・事業の概要	○報償費		3千円	○使用料及び賃借料		108千円						
	土地使用謝金（たちばな保育所園庭入口）			土地借上料（たちばな保育所駐車場等用地）		10千円						
	○需用費		2,042千円	清掃用具借上料		98千円						
	消耗品費		25千円	○工事請負費		687千円						
施設修繕費		2,017千円	島津保育所、たちばな保育所空調機更新工事									
○役務費		566千円										
貯水槽法定検査、浄化槽法定検査等手数料		33千円										
火災保険料（12施設分）※旧施設含む。		533千円										
○委託料		1,480千円										
施設警備、グリストラップ収集・処理、浄化槽維持管理等												
						成果・課題						
						○老朽化等に伴う施設の修繕及び工事を実施し、施設の安全管理を適切に行うことができた。						
						○施設や設備が老朽化していることから、大規模な改修等が必要となるものがあり、計画的に行っていく必要がある。						

予算科目	款	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	7,768千円		8,025千円	257千円	96.7%		
	目					(参考)当初予算額	課	子ども未来課
	事業					7,919千円		
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進							
目的	適切な維持管理のもと、必要な点検・整備を実施し、施設を利用する児童、職員が安全かつ快適に過ごすことができる環境を整える。		主な財源	負担金 保育認定児保育料 1,096千円 負担金 教育認定児保育料 177千円 府補 第3子以降保育料無償化事業費補助金 94千円				
主要な事務・事業の概要	○需用費 3,635千円 消耗品費 144千円 修繕費 3,491千円 ○役務費 900千円 貯水槽法定検査、浄化槽法定検査等手数料等 44千円 火災保険料（6施設分） 856千円 ○委託料 3,016千円 施設警備、グリストラップ収集・処理、自動ドア保守点検 消防設備点検、自家用電気工作物保安管理、害虫駆除等							
	○使用料及び賃借料 217千円 清掃用具借上料				成果・課題	○突発的な事案に伴う施設の修繕等を実施し、施設の安全管理を適切に行うことができた。 ○老朽化した施設もある中、大規模な改修等が必要となるものがあり、計画的に行っていく必要がある。		

予算科目	款	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	61千円		70千円	9千円	87.1%		
	目					(参考)当初予算額	課	子ども未来課
	事業					70千円		
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進							
目的	子どもの預かり等の援助を受ける方、援助を行う方からなる会員同士の援助活動を調整し、概ね生後2か月から小学校3年生までの子どもを持つ家庭の子育てを支援する。		主な財源	国補 子ども・子育て支援交付金（1/3） 20千円 府補 子ども・子育て支援交付金（1/3） 20千円				
主要な事務・事業の概要	会員のニーズに合わせた援助活動の調整を行い、子育ての支援を行った。 ○事業費 ・役務費（ファミリー・サポート・センター補償保険料） 61千円							
	会員数（令和5年3月末現在） 前年度 ・依頼（おねがい）会員 35人 42人 ・援助（まかせて）会員 18人 16人 ・両方会員 1人 1人 ※活動延べ件数 57件 61件 ※利用者実人数 おねがい会員：4人 4人 まかせて会員：3人 6人				成果・課題	○援助の必要な会員へ必要な援助をすることができるよう、調整を行い、子育てしやすい環境づくりに寄与した。 ○より一層利用を促進するためには、制度の周知、援助会員の確保、運営の工夫が課題である。		

予 算 科 目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局					
	項	02 児童福祉費	36千円	139千円	103千円	25.8%							
	目	01 児童福祉総務費				(参考)当初予算額							
	事業	03 子ども未来まちづくり審議会事業				139千円	課	子ども未来課					
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進		主 な 財 源										
目的	すべての子どもが健康で幸せに暮らせるまちづくりの推進及び子ども・子育て支援事業計画の進捗管理、特定教育・保育施設の利用定員の設定等について審議する。												
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	<p>令和元年度に策定した「第2期子ども・子育て支援事業計画」の事業進捗状況、特定教育・保育施設の利用定員の設定について情報共有及び審議するため、子ども未来まちづくり審議会を開催した。</p> <p>○委員報酬 委員：10人 1回開催 32千円 ○費用弁償 4千円</p> <p>※審議会開催状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日 程</th> <th>審 議 内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年10月7日</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について 特定教育・保育施設利用定員について </td> </tr> </tbody> </table>		日 程	審 議 内 容	令和4年10月7日	<ul style="list-style-type: none"> 子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について 特定教育・保育施設利用定員について 							
	日 程	審 議 内 容											
	令和4年10月7日	<ul style="list-style-type: none"> 子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について 特定教育・保育施設利用定員について 											
		成 果 ・ 課 題	<p>多様化する子育て支援ニーズへの対応、子どもや子育てに関し審議し、子育て世帯やすべての子どもたちが健康で幸せに暮らせるまちづくりを推進していく必要がある。</p>										

京丹後市教育振興計画

施策評価・進捗管理調書(内部評価結果)

担当課	担当課長
教育総務課	西村 隆
学校教育課	川村 義輝

重点目標	2 確かな学力・生き抜く力を育みます
基本的方針	<p>保幼小中一貫教育を柱とする学校教育改革の推進により子どもの成長に応じた指導の一貫性を確保する体制を充実することで「確かな学力」を育み、あわせて、学校園、家庭及び地域が協働し、相互に連携しながら教育力の向上を図ります。</p> <p>一人ひとりの個性や能力、確かな学力を育むとともに、地域社会への理解と関心を高め、グローバル化や情報化等の社会の変化に対応するなど、将来への夢と希望を基盤として未来を切り拓くことのできる「生き抜く力」を育みます。</p> <p>少子化の進行による学校の小規模化が予想されるなか、令和3年度に策定した学校適正配置基本計画に基づき、今後の学校の適正配置を進めます。</p>

1. 施策の方向性

PLAN

1. 保幼小中一貫教育の推進	<p>①学校教育改革構想に基づき、子どもたちの「確かな学力」と「社会を生き抜く力」を育む保幼小中一貫教育を推進します。</p> <p>②学園(中学校区)を単位とした共通の目指す子ども像を設定し、その実現に向けて系統的で一貫性のある学校園の教育活動を一層進めます。</p> <p>③保幼小中一貫教育等について保護者や地域の理解を深めるとともに連携を強化するため、教育フォーラムを開催するなど、学校教育改革に関する情報提供・共有の機会を拡充します。</p> <p>④学識経験者や市民、保護者及び学校園関係者等が、学校教育改革を適切に検証、評価し、取り組みの改善を進めます。</p> <p>⑤保幼小中一貫教育等における目標の実現状況や教育活動の成果が明らかになるよう、学校・学園評価の充実に努め、地域とともにある学校・学園づくりを推進します。</p>
2. 学校園、家庭、地域の協働による教育力の向上	<p>①子どもの発達や学習の特性等に応じた系統的で一貫性のある教育課程により、すべての学校園で就学前から中学校卒業までの系統的な指導を実施するとともに、小中学校の接続期の指導を充実します。</p> <p>②新学習指導要領に求められる教職員の資質・能力を育成するため、授業実践力や本市の児童生徒の現状を踏まえた生徒指導力を高める研修を充実します。</p> <p>③加配教職員やスクールサポーターを効果的に配置し、児童生徒一人ひとりの学習状況に応じた指導体制を整えます。</p> <p>④京丹後市への理解を深め、郷土への愛着と誇りを高めるとともに、地域生活への意欲を系統的に育む「丹後学」を、地域の人々の協力と参画により、すべての小中学校で実施します。</p> <p>⑤子どもたちの基本的な生活習慣や家庭学習習慣の確立等について、学校園と家庭が連携した取り組みを充実します。</p> <p>⑥学校園、家庭及び地域が育みたい子ども像や課題を共有し、連携・協力して進める地域の教育環境づくりを推進します。</p> <p>⑦地域と学校の連携・協働の下、学校の教育活動に地域のボランティアが参画する「地域学校協働本部事業」を推進します。</p> <p>⑧放課後における学習や体験活動の充実に向け、学校、家庭及び地域が連携し、地域ぐるみの学習環境の体制づくりを進めます。</p>
3. 確かな学力の育成	<p>①保幼小中一貫教育により校種間を円滑に接続し、就学前から中学校卒業までの10年間を見通した学習指導を充実します。</p> <p>②全国学力・学習状況調査の結果が、現在、全国・府平均を概ね上回っている学力についても、診断結果をもとに児童生徒の学力状況をきめ細かく把握するとともに、分析結果を活用した指導改善により、児童生徒一人ひとりに応じたきめ細かな指導を継続的に行います。</p> <p>③すべての教科や特別活動に「言語活動」や「コミュニケーション活動」の充実を位置付け、系統的・継続的な指導を行います。</p> <p>④「丹後学」において京丹後市の学習素材を活かした体験的な学習や問題解決的な学習を行うなど、児童生徒が目的意識を持って主体的に取り組む学習を充実します。</p> <p>⑤主体的に学びに向かう力や思考力、判断力、表現力等、習得した知識や技能を活用する力を育成するため、教育実践モデル校等を指定し、その実践と成果をすべての学校園に普及します。</p> <p>⑥家庭学習が定着するよう、学校園と家庭が連携して児童生徒の主体的な学習習慣を育成します。</p> <p>⑦学校支援ボランティアや大学のもつ専門性を活用したり、小中学校と高等学校が積極的に連携・交流したりするなど、児童生徒の知的好奇心や学習意欲を育むための取り組みを充実します。</p>
4. 社会を生き抜く力の育成	<p>①子どもたちが将来、社会的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方・働き方を実現する力を身に付けるため、就学前教育から義務教育修了時まで各学校段階を通じた体系的・系統的なキャリア教育を推進します。</p> <p>②「丹後学」において、郷土とそこに生きる人々を通じた探究活動を充実し、自己の生き方・あり方について深く考える力を育てるとともに、児童生徒の将来への夢や希望を育みます。</p> <p>③児童生徒の学習に対する興味・関心や意欲と学習効果を高めるとともに、学習の基盤となる資質・能力である情報活用能力を育成するため、情報通信ネットワークやコンピュータなどのICT環境を整備します。</p> <p>④小学校低学年から英語に親しむ活動を充実するなど、国際社会に生きる日本人としての基礎的な能力を系統的に育成します。</p> <p>⑤国際感覚を持ちグローバル社会で活躍できる人材を育成するため、多文化共生社会の視点に立ち、諸外国の文化や伝統を理解し興味・関心を深める国際理解教育を推進します。</p> <p>⑥環境の保全や主体的に環境に働きかける実践的態度・能力を育成するため、身近な環境に関心を持ち人間と環境との関わりについて理解を求める環境教育を推進します。</p>

【参考】施策に関連するその他の計画

計画名称	計画概要	策定年月	計画期間	備考
第2次京丹後市総合計画	市の目指す基本理念、目標、将来像などを示した「基本構想」と、その構想を実現するための各種施策を総合的、計画的に体系化した「基本計画」	平成27年3月	平成27年度～平成36年度	
京丹後市学校教育改革構想	中学校卒業時に期待される学力をすべての生徒が確実に身に付けることができるようにしていくため、保育所・幼稚園、小学校、中学校の10年間を見据え、より系統的で一貫性のある教育を実践するための構想を策定	平成24年11月	計画期間の定めなし	

2. 主な取組と構成事務事業一覧

PLAN

DO

※各事業の成果・課題については、別紙決算附属資料参照

CHECK

ACT

1. 保幼小中一貫教育の推進		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		R3決算額	R4決算額	R5予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
<p>① 学校教育改革構想に基づき、子どもたちの「確かな学力」と「社会を生き抜く力」を育む保幼小中一貫教育を推進します。</p> <p>② 学園(中学校区)を単位とした共通の目指す子ども像を設定し、その実現に向けて系統的で一貫性のある学校園の教育活動を一層進めます。</p> <p>③ 保幼小中一貫教育等について保護者や地域の理解を深めるとともに連携を強化するため、教育フォーラムを開催するなど、学校教育改革に関する情報提供・共有の機会を拡充します。</p> <p>④ 学識経験者や市民、保護者及び学校園関係者等が、学校教育改革を適切に検証、評価し、取り組みの改善を進めます。</p> <p>⑤ 保幼小中一貫教育等における目標の実現状況や教育活動の成果が明らかになるよう、学校・学園評価の充実に努め、地域とともにある学校・学園づくりを推進します。</p>						
1	保幼小中一貫教育推進事業《再掲》	学校教育課	-	-	-	現状維持
<p>「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき、保幼小中一貫教育の推進に向け、協議会及び専門部会で調査研究を行う。また、研修等を実施し、指導の一貫性を通じて子どもたちの確かな学力、豊かな心を育成するとともに、「丹後学」の充実を図る。</p>						
2	保幼小中一貫教育実践事業	学校教育課	4,886	5,046	5,827	現状維持
<p>「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき、市内全域で保幼小中一貫教育を実践する。また、郷土への理解、愛着と誇りを高めるとともに将来の自己の生き方・在り方の探求を進める「丹後学」の充実を図る。</p>						
2. 学校園、家庭、地域の協働による教育力の向上		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		R3決算額	R4決算額	R5予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
<p>① 子どもの発達や学習の特性等に応じた系統的で一貫性のある教育課程により、すべての学校園で就学前から中学校卒業までの系統的な指導を実施するとともに、小中学校の接続期の指導を充実します。</p> <p>② 新学習指導要領に求められる教職員の資質・能力を育成するため、授業実践力や本市の児童生徒の現状を踏まえた生徒指導力を高める研修を充実します。</p> <p>③ 加配教職員やスクールサポーターを効果的に配置し、児童生徒一人ひとりの学習状況に応じた指導体制を整えます。</p> <p>④ 京丹後市への理解を深め、郷土への愛着と誇りを高めるとともに、地域生活への意欲を系統的に育む「丹後学」を、地域の人々の協力と参画により、すべての小中学校で実施します。</p> <p>⑤ 子どもたちの基本的な生活習慣や家庭学習習慣の確立等について、学校園と家庭が連携した取り組みを充実します。</p> <p>⑥ 学校園、家庭及び地域が育みたい子ども像や課題を共有し、連携・協力して進める地域の教育環境づくりを推進します。</p> <p>⑦ 地域と学校の連携・協働の下、学校の教育活動に地域のボランティアが参画する「地域学校協働本部事業」を推進します。</p> <p>⑧ 放課後における学習や体験活動の充実に向け、学校、家庭及び地域が連携し、地域ぐるみの学習環境の体制作りを進めます。</p>						
3	学習支援体制整備事業	学校教育課	330	729	860	現状維持
<p>「教育と学びのまち 京丹後」の実現に向け、放課後を活用した教育活動を実施することにより、子どもたちの学びを支援する仕組みづくりを進める。</p>						
4	地域学校協働本部事業	生涯学習課	3,403	3,643	4,259	現状維持
<p>「教育と学びのまち 京丹後」の実現に向け、「学校のニーズ」と「地域の人の持つ力」を結び付け、学校・家庭及び地域が協力して子どもを育む環境の充実を図る。</p>						
3. 確かな学力の育成		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		R3決算額	R4決算額	R5予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
<p>① 保幼小中一貫教育により校種間を円滑に接続し、就学前から中学校卒業までの10年間を見通した学習指導を充実します。</p> <p>② 全国学力・学習状況調査の結果が、現在、全国・府平均を概ね上回っている学力についても、診断結果をもとに児童生徒の学力状況をきめ細かく把握するとともに、分析結果を活用した指導改善により、児童生徒一人ひとりに応じたきめ細かな指導を継続的に進めます。</p> <p>③ すべての教科や特別活動に「言語活動」や「コミュニケーション活動」の充実を位置付け、系統的・継続的な指導を行います。</p> <p>④ 「丹後学」において京丹後市の学習素材を活かした体験的な学習や問題解決的な学習を行うなど、児童生徒が目的意識を持って主体的に取り組む学習を充実します。</p> <p>⑤ 主体的に学びに向かう力や思考力、判断力、表現力等、習得した知識や技能を活用する力を育成するため、教育実践モデル校等を指定し、その実践と成果をすべての学校園に普及します。</p> <p>⑥ 家庭学習が定着するよう、学校園と家庭が連携して児童生徒の主体的な学習習慣を育成します。</p> <p>⑦ 学校支援ボランティアや大学のもつ専門性を活用したり、小中学校と高等学校が積極的に連携・交流したりするなど、児童生徒の知的好奇心や学習意欲を育むための取り組みを充実します。</p>						
5	教科用図書採択事業	学校教育課	-	-	-	統合(整理)
<p>丹後教科用図書採択地区協議会において教科用図書の調査・研究を行い、市立小中学校で使用される教科用図書の公正かつ適正な採択を行う。</p>						

3. 確かな学力の育成		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		R3決算額	R4決算額	R5予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)					担当課
	6 学務経費	学校教育課				
	学校保健安全法に基づく就学時健康診断を行うとともに、学齢簿の管理、学校管理下での安全衛生や事故災害に対応する。また、丹後教科用図書採択地区協議会において教科用図書の調査・研究を行い、市立小中学校で使用する教科用図書の公正かつ適正な採択を行う。		5,429	4,763	4,972	現状維持
	7 小学校丹後学等教育活動実践事業	学校教育課				
	授業改善や教員の指導力向上を図るため、府の研究指定校を受けて教育実践に取り組むとともに、「丹後学」の充実を図る。また、教育課題の解決に向けた研究事業に取り組むほか、修学旅行における引率教員の施設入場料等に係る経費を支援する。		-	1,635	1,994	統合(整理)
	8 中学校丹後学等教育活動実践事業	学校教育課				
	教員の指導力向上や生徒の自己肯定感を高めるため、府の研究指定を受け教育実践に取り組むとともに、「丹後学」の充実を図る。また、教育課題の解決に向けた研究事業に取り組むほか、修学旅行における引率教員の施設入場料等に係る経費を支援する。		-	1,241	1,376	統合(整理)
	9 小学校教育振興事業	学校教育課				
	副読本や学習教材を有効に活用するとともに、地域の特性を取り入れた学習指導を実践し、学力等の向上を図る。		14,953	17,722	59,089	現状維持
	10 小学校教育振興備品整備事業	学校教育課				
	授業に必要な教材備品や学校図書を計画的に整備することで、児童の主體的、意欲的な学習活動を充実させ、学力の向上を図るとともに豊かな心を育む。		11,010	10,508	9,220	現状維持
	11 小学校就学援助事業	学校教育課				
	要保護者、準要保護者及び特別支援学級に入級する児童の保護者等の経済的負担を軽減する。		19,704	19,691	24,006	現状維持
	12 中学校教育振興事業	学校教育課				
	副読本や学習教材を有効に活用するとともに、地域の特性を取り入れた学習指導の実践や部活動、体育大会等への参加を支援し、学力等の向上を図る。		20,735	25,955	25,101	現状維持
	13 中学校教育振興備品整備事業	学校教育課				
	授業に必要な教材備品や学校図書を計画的に整備することで、生徒の主體的、意欲的な学習活動を充実させ、学力の向上を図るとともに豊かな心を育む。		8,418	10,874	8,238	現状維持
	14 中学校就学援助事業	学校教育課				
	要保護者、準要保護者及び特別支援学級に入級する生徒の保護者等の経済的負担を軽減する。		20,348	18,894	21,265	現状維持
4. 社会を生き抜く力の育成		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		R3決算額	R4決算額	R5予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)					担当課
<p>① 子どもたちが将来、社会的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方・働き方を実現する力を身に付けるため、就学前教育から義務教育修了時まで各学校段階を通じた体系的・系統的なキャリア教育を推進します。</p> <p>② 「丹後学」において、郷土とそこに生きる人々を通じた探究活動を充実し、自己の生き方・あり方について深く考える力を育てるとともに、児童生徒の将来への夢や希望を育みます。</p> <p>③ 児童生徒の学習に対する興味・関心や意欲と学習効果を高めるとともに、学習の基盤となる資質・能力である情報活用能力を育成するため、情報通信ネットワークやコンピュータなどのICT環境を整備します。</p> <p>④ 小学校低学年から英語に親しむ活動を充実するなど、国際社会に生きる日本人としての基礎的な能力を系統的に育成します。</p> <p>⑤ 国際感覚を持ちグローバル社会で活躍できる人材を育成するため、多文化共生社会の視点に立ち、諸外国の文化や伝統を理解し興味・関心を深める国際理解教育を推進します。</p> <p>⑥ 環境の保全や主體的に環境に働きかける実践的態度・能力を育成するため、身近な環境に関心を持ち人間と環境との関わりについて理解を求める環境教育を推進します。</p>						
	15 学校情報化推進事業	学校教育課				
	小中学校の情報通信ネットワークの整備・維持管理を行うとともに、情報管理の徹底と学校情報化を行う。また、ICTを活用した学習環境を推進する。		42,202	56,940	49,739	現状維持
	16 児童生徒国際交流事業	学校教育課				
	国際交流事業を推進することにより、語学力の向上はもとより、国際感覚を持ちグローバル社会で活躍できる人材を育成する。		44	-	-	統合(整理)
	17 グローバル人材育成事業	学校教育課				
	STEAM教育をはじめ、国際交流事業を推進することにより、語学力の向上はもとより、国際感覚を持ちグローバル社会で活躍できる人材を育成する。		-	7,296	16,566	拡大
	18 外国語指導助手招致事業	教育総務課				
	一般財団法人自治体国際化協会(JETプログラム)の斡旋を受け、外国語指導助手(ALT)を招致・任用し、小中学校で授業等の補助を行うことで、外国語教育及び国際理解教育の促進を図る。		24,805	25,458	29,002	現状維持
	19 国際交流員招致事業	学校教育課				
	一般財団法人自治体国際化協会の「語学指導等を行う外国青年招致事業(JETプログラム)」を活用して国際交流員を任用し、現代社会のグローバル化に対応する。		1,883	4,020	4,494	現状維持
上記の「主な取り組み」への位置付けが困難な事業		決算額(単位:千円)			事務の改善	
↓		R3決算額	R4決算額	R5予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
	事務事業名称・事業内容(実績)					担当課
	20 奨学金事業	教育総務課				
	経済的に困窮している世帯で勉強意欲のある生徒や学生に対し、奨学金の給付及び貸付を行い、就学を支援する。		6,011	27,499	55,986	拡大

上記の「主な取り組み」への位置付けが困難な事業		決算額(単位:千円)			事務の改善	
事務事業名称・事業内容(実績)		担当課	R3決算額	R4決算額	R5予算額	評価を踏まえた今後の方向性
21	奨学基金 経済的理由により大学等への修学が困難な者に対し、奨学金を給付することを目的とした奨学基金への積立金	教育総務課	895	721	12	改善・効率化
22	谷口謙・未来応援基金 経済的理由により大学等への進学及び修学が困難な者に対し、奨学金を貸し付けることを目的とした谷口謙・未来応援基金への積立金	教育総務課	3,351	2,845	2,580	改善・効率化
計			188,407	245,480	324,586	

3. 教育振興計画で掲げている主な目標指標

基本的方針	<p>保幼小中一貫教育を柱とする学校教育改革の推進により子どもの成長に応じた指導の一貫性を確保する体制を充実することで「確かな学力」を育み、あわせて、学校園、家庭及び地域が協働し、相互に連携しながら教育力の向上を図ります。</p> <p>一人ひとりの個性や能力、確かな学力を育むとともに、地域社会への理解と関心を高め、グローバル化や情報化等の社会の変化に対応するなど、将来への夢と希望を基盤として未来を切り拓くことのできる「生き抜く力」を育みます。</p> <p>少子化の進行による学校の小規模化が予想されるなか、令和3年度に策定した学校適正配置基本計画に基づき、今後の学校の適正配置を進めます。</p>
-------	--

	目標指標	単位	計画作成時		実績値(現状)		目標値	
			年度	年度	年度	年度		
主な目標指標	学校園関係者による中学校区(学園)ごとの検証・評価・取り組みの改善のサイクルの確立(実施中学校区)	中学校区	0	H25	6学園	R4	6(全中学校区で実施)	R6
	学校の授業時間以外の勉強時間が1時間以上の児童の割合<小学生>	%	73.2	H25	67.6	R4	80%以上	R6
	学校の授業時間以外の勉強時間が1時間以上の生徒の割合<中学生>	%	50.6	H25	53.5	R4	70%以上	R6
	一貫性・系統性のある指導による確かな学力の定着	%	小中学校各教科の全国平均正答率	-	中学校英語のみ全国平均以上	R4	市平均の全教科全国平均以上	R6
	将来の夢や目標を持っている生徒の割合<中学生>	%	70.0	H25	68.7	R4	90%以上	R6

4. 施策の進捗状況の評価と今後の課題[基本的方針の達成に向け、施策がどの程度進捗しているか]

CHECK **ACT**

進捗状況区分	評価	令和4年度成果と今後の課題
◎ 予定以上に進んでいる	○	<p>《学校園関係者による中学校区(学園)ごとの検証・評価・取り組みの改善のサイクルの確立(実施中学校区)》</p> <p>各学校の関係者評価は、保幼小中一貫教育の諸計画及び各学園の重点等を基盤に作成している。また、各学園の学校関係者評価の必須項目に「保幼小中一貫教育の推進」を設定することで、学園の取組み等の検証・評価を各校園単位でPDCAサイクルにより進めることができた。今後は、全ての学園に設置されている学校運営協議会による学園評価について、更に充実させるための体制整備が必要である。</p> <p>《学校の授業時間以外の勉強時間が1時間以上の児童生徒の割合》</p> <p>小学校の家庭学習時間は年々減少傾向にあり、授業と家庭学習を連動させた指導の改善が求められる。課題の個別最適化についても考えていく必要がある。市学力向上対策会議の重点課題として取り組み、各校・各学園での取組みを一層充実させ、自主的・自発的な家庭学習の習慣化を目指し、適時性を意識した系統的な指導を充実させる。その際、オンラインによるタブレットの持ち帰り学習も効果的に進める。</p> <p>《一貫性・系統性のある指導による確かな学力の定着》</p> <p>新学習指導要領の下での指導が始まり、求められる資質・能力の向上を目指す授業改善に取り組んでいるかどうかの見直しが必要である。質問紙の学習活動に係る項目に沿って授業を見直すことが大切である。また、課題に焦点化した学力向上の取組みを保幼小中一貫教育を手段として、各校・各学園で一層推進していく必要がある。そのために市学力向上対策会議等で各学園の実践から学び合う機会を設定する。</p> <p>《将来の夢や目標を持っている生徒の割合》</p> <p>年々減少の傾向にあったが、若干増加した。目的意識を持たせるための意図的な働きかけが必要である。児童生徒が、学校、家庭及び地域において学んだことを振り返り、新たな学習や生活への意欲につなげ将来の生き方を考える活動の中で、児童生徒が学びを記録し蓄積する教材として「キャリアパスポート」を活用し、対話的に関わり個の成長を促す系統的な指導を進める等、キャリア教育のより一層の推進・充実を図る必要がある。</p>
○ 予定どおり進んでいる		
▲ 少し遅れている		
× 大幅に遅れている		

5. 今後の施策展開の考え方(令和5年～令和6年度までの主な取組)

ACT

区分	No.	具体的内容
施策展開の考え方	1	28年度からの小中一貫教育の全市展開では、実質的に保育所・幼保連携型認定こども園の就学前1年を含めた10年間の一貫教育を行っていることから、令和3年1月に名称を「保幼小中一貫教育」に改めた。学園単位によるPDCAサイクルの実施とその検証・評価に基づく保幼小中一貫教育推進基本計画等の適切な改訂を行う。また、各学園を会場とした市教育フォーラム等の啓発活動により、教職員・保護者・地域住民への成果の明確化を図る。
	2	学園コーディネーター等の配置を継続するとともに、各学園に設置された学校・地域連携協議会の学園運営協議会(コミュニティ・スクール)への移行が令和2年度に完了したことから、学校、家庭、地域が連携した学習環境の体制作り、目指す子ども像に基づく学校・地域が連携した取組みを一層推進する。
	3	保幼小中一貫教育モデルカリキュラム及び保幼小接続モデルプラン等を活用した各学園での系統的で一貫性のある指導を充実させるため、授業改善・授業研究を更に推進するとともに、全国学力・学習状況調査の学園分析結果を活用し個に応じたきめ細かな指導の充実を図る。
	4	総合的な学習の時間を活用した「丹後学モデルカリキュラム」の自校園化に向けた取組みと興味・関心・意欲を高めるICT機器の整備推進を図るとともに、中学生の海外派遣やSTEAM教育の推進・英語力の向上に取り組むとともに、児童生徒の国際交流等を推進することにより、国際社会を生きる日本人としての基礎的な能力の育成を図る。

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	5,046千円	5,810千円	764千円	86.8%		
	目	02 事務局費				(参考)当初予算額		
	事業	15 保幼小中一貫教育実践事業				5,810千円		
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	府補 ぎょうと地域連携交付金（保幼小中一貫教育実践事業）		2,300千円		
目的	「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき、市内全域で保幼小中一貫教育を実践する。 また、郷土への理解、愛着と誇りを高めるとともに将来の自己の生き方・在り方の探求を進める「丹後学」の充実を図る。							
主要な事務・事業の概要	○保幼小中一貫教育の実践（報償費、消耗品費、印刷製本費等） 3,243千円 ・峰山学園：情報モラル講習会、授業体験等 674千円 ・大宮学園：SNS研修会、授業体験等 493千円 ・網野学園：授業研修会、授業体験等 734千円 ・丹後学園：部活動体験、授業実践力向上講演会等 383千円 ・弥栄学園：情報モラル講演会、授業体験等 408千円 ・久美浜学園：SNS講演会、体験入学等 551千円 ○特色ある学校づくりの支援（報償費、消耗品費、委託料等） 1,753千円 実施校：全校 主な取組内容：郷土学習、環境学習、農業体験、人権学習、ばら寿司作り、福祉体験講座、性教育、SDGsに関する取組等		○京丹後市保幼小中一貫教育研修会（講師謝金、通信運搬費） 50千円 開催日：令和4年8月9日（火） 対象：市内学校園所教職員、教育関係者 参加者：90人 講師：妹尾 昌俊 氏（教育研究家、一般社団法人ライフ&ワーク代表理事）					
	成果・課題		○保幼小中一貫教育の実施により、各学園が教育目標「目指す子ども像」を設定し、カリキュラムや指導方法を統一することで、学園内の小中学校が一体となった教育活動を系統的に行うことができた。 ○特色ある学校づくりとして、地域に関する学習を支援することにより「丹後学」の充実を図ることができた。 ○授業体験等の小中連携、合同SNS講演会等の小中連携等、学園内の保幼小中学校が連携した教育活動を実施することができた。					

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																				
	項	01 教育総務費	729千円	776千円	47千円	93.9%																						
	目	02 事務局費				(参考)当初予算額																						
	事業	11 学習支援体制整備事業				1,476千円																						
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	府補 地域で支える学校教育推進事業費補助金（2/3）		487千円																						
目的	「教育と学びのまち 京丹後」の実現に向け、放課後を活用した教育活動を実施することにより、子どもたちの学びを支援する仕組みづくりを進める。																											
主要な事務・事業の概要	○中学生の放課後学習支援（講師謝金、消耗品費） 729千円 放課後を活用した学習を希望する生徒を対象に、学習習慣の確立と基礎学力の定着、学力向上による高校進学率の向上を目的として、放課後の学習支援を行った。		<table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>回数</th> <th>参加人数（延べ）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山中学校</td> <td>26回</td> <td>314人</td> </tr> <tr> <td>大宮中学校</td> <td>13回</td> <td>780人</td> </tr> <tr> <td>網野中学校</td> <td>19回</td> <td>898人</td> </tr> <tr> <td>丹後中学校</td> <td>36回</td> <td>850人</td> </tr> <tr> <td>弥栄中学校</td> <td>40回</td> <td>706人</td> </tr> <tr> <td>久美浜中学校</td> <td>93回</td> <td>2,704人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>227回</td> <td>6,252人</td> </tr> </tbody> </table>		学校名	回数	参加人数（延べ）	峰山中学校	26回	314人	大宮中学校	13回	780人	網野中学校	19回	898人	丹後中学校	36回	850人	弥栄中学校	40回	706人	久美浜中学校	93回	2,704人	合計	227回	6,252人
	学校名	回数	参加人数（延べ）																									
峰山中学校	26回	314人																										
大宮中学校	13回	780人																										
網野中学校	19回	898人																										
丹後中学校	36回	850人																										
弥栄中学校	40回	706人																										
久美浜中学校	93回	2,704人																										
合計	227回	6,252人																										
※時期・回数・時間等計画内容は、学校によって異なる。		成果・課題		中学生の学習習慣の確立と基礎学力の定着に寄与した。また、ICT機器を活用し、個々の学習進度に応じた学習を行うことができた。																								

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																							
	項	01 教育総務費	3,643千円	3,666千円	23千円	99.3%																									
	目	02 事務局費				(参考)当初予算額																									
	事業	10 地域学校協働本部事業				3,780千円																									
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	府補 地域で支える学校教育推進事業費補助金(2/3)		1,680千円																									
目的	「教育と学びのまち 京丹後」の実現に向け、「学校のニーズ」と「地域の人の持つ力」を結び付け、学校・家庭及び地域が協力して子どもを育む環境の充実を図る。																														
主要な事務・事業の概要	地域全体で学校教育を支援するため、様々な特技や技能を持った地域の人材を「学校支援ボランティア」として登録し、全てのこども園、小・中学校で、学習支援やクラブ活動支援、学校の環境整備などを実施した。				【ボランティア活動の内容等】																										
	○地域コーディネーター謝金(6人分)	2,843千円			・学習支援(教科指導補助、「総合的な学習」講師補助、部活動指導支援等)																										
	○地域コーディネーター旅費	348千円			・環境支援(学校環境整備、学校図書室整理、安全確保、学校行事等の補助等)																										
	○消耗品費、印刷製本費	452千円			<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 域</th> <th>活動日数</th> <th>活動人数(延べ)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山学園</td> <td>621日</td> <td>2,978人</td> </tr> <tr> <td>大宮学園</td> <td>130日</td> <td>204人</td> </tr> <tr> <td>網野学園</td> <td>636日</td> <td>4,082人</td> </tr> <tr> <td>丹後学園</td> <td>74日</td> <td>275人</td> </tr> <tr> <td>弥栄学園</td> <td>299日</td> <td>533人</td> </tr> <tr> <td>久美浜学園</td> <td>516日</td> <td>2,384人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>2,276日</td> <td>10,456人</td> </tr> </tbody> </table>		区 域	活動日数	活動人数(延べ)	峰山学園	621日	2,978人	大宮学園	130日	204人	網野学園	636日	4,082人	丹後学園	74日	275人	弥栄学園	299日	533人	久美浜学園	516日	2,384人	合 計	2,276日	10,456人	
区 域	活動日数	活動人数(延べ)																													
峰山学園	621日	2,978人																													
大宮学園	130日	204人																													
網野学園	636日	4,082人																													
丹後学園	74日	275人																													
弥栄学園	299日	533人																													
久美浜学園	516日	2,384人																													
合 計	2,276日	10,456人																													
<活動概要>				成果・課題																											
・実施期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日			○地域住民の経験や特技を学校の教育活動等に活かすことで、地域による学校教育支援はもとより、多世代交流に繋がりが、市民の生きがいづくりになっている。																											
・実施場所	市内全小学校(17校)、中学校(6校) こども園(6園)			○学校活動の多様なニーズを把握するとともに、それに対応するボランティアを確保する必要がある。																											
・地域コーディネーター	6人(配置先:6中学校)			○地域コーディネーターの今後の在り方が課題である。																											
・ボランティア登録者数	598人(令和4年度新規登録者数23人)																														
・広報紙の発行	2回(ボランティア募集、活動報告)																														
※ボランティアの登録状況(令和5年3月末現在)																															
	町域	峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	市外	合計																						
	人数	136人	94人	154人	71人	68人	67人	8人	598人																						

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	02 小学校費	1,635千円	1,851千円	216千円	88.3%		
	目	02 小学校教育振興費				(参考)当初予算額		
	事業	05 小学校丹後学等教育活動実践事業				1,895千円		
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	府補 豊かな学び・文化体験活動推進事業補助金(10/10)、(1/2)		343千円		
目的	授業改善や教員の指導力向上を図るため、府の研究指定校を受けて教育実践に取り組むとともに、「丹後学」の充実を図る。また、教育課題の解決に向けた研究事業に取り組むほか、修学旅行における引率教員の施設入場料等に係る経費を支援する。			府委 次世代型小・中・高連携外国語教育推進事業費委託金(10/10)		100千円		
主要な事務・事業の概要	○体験活動、総合的な学習活動(丹後学)(講師謝金等)		1,152千円	○教育研究事業負担金		146千円		
	・豊かな学び・文化体験活動推進事業(体験授業) 府補助事業(補助率10/10) 実施校:長岡、大宮第一、橘、かぶと山		119千円	京丹後市小学校教育研究会 小学校教育に関する研究を推進し、小学校教育の充実・発展と教職員の資質の向上を図るため、各教科の研究、研修会等を実施。				
	・豊かな学び・文化体験活動推進事業(文化・古典) 府補助事業(補助率1/2) 実施校:峰山、いさなご、しんざん、長岡、網野南、橘、吉野、弥栄、高龍、かぶと山		450千円	○修学旅行引率補助金		237千円		
	・総合的な学習活動推進事業 市単独事業、全小学校で実施		583千円	17校、引率教員61人				
○教育実践研究指定事業		100千円						
・次世代型小・中・高連携外国語教育推進事業(消耗品費等) 府委託事業(補助率10/10) 実施校:いさなご・しんざん 実施年度:令和2年度~4年度(3か年)					成果・課題			
					○地域社会における仕事や文化の体験活動を通じて、丹後学の充実を図るとともに、府の研究指定校を受けて教育活動に取り組むことで、児童の基礎学力の向上を図り、豊かな人間性を育む教育のより一層の推進につながった。 ○児童の基礎学力の向上や豊かな人間性を育てる教育を継続していくため、教職員の資質の向上や創意工夫による実践活動が必要である。			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	03 中学校費						84.4%				
	目	02 中学校教育振興費	1,241千円	1,470千円	229千円	(参考)当初予算額						
	事業	05 中学校丹後学等教育活動実践事業				1,189千円			課	学校教育課		
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実										
目的	教員の指導力向上や生徒の自己肯定感を高めるため、府の研究指定を受け教育実践に取り組むとともに、「丹後学」の充実を図る。また、教育課題の解決に向けた研究事業に取り組むほか、修学旅行における引率教員の施設入場料等に係る経費を支援する。			主な財源	府補 豊かな学び・文化体験活動推進事業補助金(1/2) 136千円 府委 次世代型小・中・高連携外国語教育推進事業費委託金(10/10) 50千円 府委 未来を拓く学校づくり推進事業委託金(10/10) 200千円 府委 未来の担い手育成プログラム研究事業費委託金(10/10) 200千円							
主要な 事務・ 事業の 概要	○体験活動、総合的な学習活動(丹後学)(講師謝金等)		573千円	○教育研究事業負担金		83千円						
	・豊かな学び・文化体験活動推進事業(文化・古典) 府補助事業(補助率1/2) 実施校:全中学校 着付け体験学習 受講生徒:426人		291千円	京丹後市中学校教育研究会 中学校教育に関する研究を推進し、教職員の資質の向上と中学校教育の 推進を図るため、各教科の研究、研究集録・指導案の作成を実施。								
	・総合的な学習活動推進事業		282千円	○修学旅行引率補助金		135千円						
	市単独事業、全中学校で実施			6校、引率教員51人								
○教育実践研究指定事業(消耗品費、バス運転委託料)		450千円										
・次世代型小・中・高連携外国語教育推進事業		50千円										
実施校:峰山中学校 ※府委託事業(補助率10/10) 実施年度:令和2年度~4年度(3か年)												
・未来を拓く学校づくり推進事業		200千円										
実施校:網野中学校 ※府委託事業(補助率10/10) 実施年度:令和4年度~6年度(3か年)												
・未来の担い手育成プログラム研究校		200千円										
実施校:丹後中学校 ※府委託事業(補助率10/10) 実施年度:令和4年度~6年度(3か年)												
			成果・課題		○地域社会における仕事や文化の体験活動を通じて、郷土への理解・愛着を高め将来の自己の在り方の探究を進める丹後学の充実を図った。 ○府の研究指定を受けて教育活動に取り組むことで、生徒の基礎学力の向上を図り、コミュニケーション能力など、豊かな人間性を育む教育の推進につながった。 ○生徒の基礎学力の向上や豊かな人間性を育てる教育を継続していくため、教職員の資質の向上や創意工夫による実践活動が必要である。							

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	02 小学校費						89.5%				
	目	02 小学校教育振興費	17,722千円	19,797千円	2,075千円	(参考)当初予算額						
	事業	01 小学校教育振興事業				23,408千円			課	学校教育課		
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実										
目的	副読本や学習教材を有効に活用するとともに、地域の特性を取り入れた学習指導を実践し、学力等の向上を図る。			主な財源	府補 きょうと地域連携交付金(教育振興事業) 4,900千円							
主要な 事務・ 事業の 概要	○報償費		1,240千円	○使用料及び賃借料		3,101千円						
	・入学記念品(400人分)		344千円	・自動車借上料		2,858千円						
	・卒業記念品(371人分)		896千円	・有料道路通行料		74千円						
				・駐車場使用料		18千円						
○旅費		19千円	・著作物使用料		151千円							
・費用弁償(大地の学習講師費用弁償)												
○需用費		11,207千円	○負担金、補助及び交付金		3千円							
・消耗品費		11,033千円	・各種大会等参加負担金									
学用品、理科実験用品、学力検査、指導書(教職員用)ほか			山陰海岸ジオパーク小学生駅伝競走大会参加料(橋小学校参加分)									
・燃料費		2千円	開催日:令和4年10月29日									
大地の学習指導者研修会送迎バス燃料			開催場所:兵庫県豊岡市日高町山田(奥神鍋高原周辺駅伝コース)									
・印刷製本費		172千円										
社会科副読本「わたしたちのきょうたんご」428部 ※3・4年生用												
○委託料		2,152千円	成果・課題		学校内での学習活動に加え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を講じながら、可能な限り、各学校の創意工夫や独自性を活かした様々な社会活動、体験活動などの校外学習を行うことで、児童の基礎学力の向上や社会を生き抜く力を高めることができた。							
・スクールバス定期外運行運転委託料												

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	02 小学校費	10,508千円	10,916千円	408千円	96.2%		
	目	02 小学校教育振興費				(参考)当初予算額	課	学校教育課
	事業	02 小学校教育振興備品整備事業				10,516千円		
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実					国補	理科教育設備整備費等補助金(1/2)	
目的	授業に必要な教材備品や学校図書を計画的に整備することで、児童の主体的、意欲的な学習活動を充実させ、学力の向上を図るとともに豊かな心を育む。		府補	きょうと地域連携交付金(教育振興事業)		2,400千円		
			寄附金	ふるさと応援寄附金		400千円		
主要な事務・事業の概要	<p>学習環境を整えるため、必要となる教材備品を購入した。図書については、充足率の向上に努めるよう整備を行うとともに、学校図書館蔵書管理システムを使用して管理を行った。</p> <p>○需用費 227千円 ・修繕料(教材備品の修繕)</p> <p>○役務費 12千円 ・家電リサイクル料(テレビ1台、洗濯機2台)</p> <p>○使用料及び賃借料 168千円 ・ソフトウェア使用料(全小学校分) (学校図書室蔵書管理システム用)</p>		○備品購入費 10,101千円 ・教材備品整備 4,358千円 ・学校図書整備 3,505千円 (うち、ふるさと応援寄附金充当額 400千円) ・理科・算数備品整備 2,238千円					
			成果・課題	<p>学習指導要領の下、必要な学習教材、教育備品及び学校図書の整備に努めるとともに、理科備品については、国の補助金を活用し計画的に整備することで、学習指導要領に沿った教育環境を整えることができた。</p>				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局													
	項	02 小学校費	19,691千円	21,034千円	1,343千円	93.6%															
	目	02 小学校教育振興費				(参考)当初予算額	課	学校教育課													
	事業	03 小学校就学援助事業				25,052千円															
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実					国補	就学援助費補助金(1/2)		35千円												
目的	要保護者、準要保護者及び特別支援学級に入級する児童の保護者等の経済的負担を軽減する。		国補	特別支援教育就学奨励費補助金(1/2)		825千円															
			諸収入	過年度就学援助費返還金		51千円															
主要な事務・事業の概要	<p>○就学援助費 17,952千円 ・要保護認定者 11人(R3:12人) 71千円 修学旅行費 35千円 医療費 36千円 ・準要保護認定者 240人(R3:254人) 16,476千円 学用品費等 4,226千円 給食費 9,514千円 修学旅行費 1,082千円 医療費 48千円 オンライン学習通信費 1,606千円 ・準要保護認定者(被災児童) 0人(R3:1人) ※申請者数 282人(R3:283人) 認定者数 251人(R3:264人) ・令和5年度新入学児童生徒学用品費入学前支給分 1,405千円 支給者数 26人 ※令和5年2月17日支給</p> <p>○就学援助世帯貸出Wi-Fiルーター貸出 14千円 ・貸出者数 4人</p>		○特別支援教育就学奨励費 1,725千円 ・対象者 61人(R3:45人) 学用品費等 571千円 給食費 1,071千円 修学旅行費 57千円 通学費(交通費) 26千円 ※支給者数 7人																		
			成果・課題	<p><参考> 対象児童数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R元</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>就学援助費</td> <td>255人</td> <td>271人</td> <td>264人</td> <td>251人</td> </tr> <tr> <td>就学奨励費</td> <td>33人</td> <td>49人</td> <td>45人</td> <td>61人</td> </tr> </tbody> </table> <p>○就学に必要な学用品費、給食費、修学旅行費等を支援に加え、新たに障害のある児童生徒の通学費、オンライン学習通信費支援することで、対象生徒の保護者の経済的負担を軽減することができた。 ○新入学児童生徒学用品費の入学前支給を行ったことで、新入学生徒の保護者の経済的負担を軽減することができた。 ○制度内容の周知を徹底するとともに、世帯状況や家計状態などを考慮し、公正かつ適正な援助に引き続き努める必要がある。</p>						年度	R元	R2	R3	R4	就学援助費	255人	271人	264人	251人	就学奨励費	33人
年度	R元	R2	R3	R4																	
就学援助費	255人	271人	264人	251人																	
就学奨励費	33人	49人	45人	61人																	

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	03 中学校費	25,955千円	26,139千円	184千円	99.2%	(参考)当初予算額	26,967千円	課	学校教育課		
	目	02 中学校教育振興費										
	事業	01 中学校教育振興事業										
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	国補	地方創生推進交付金	518千円	府補	きょうと地域連携交付金（教育振興事業）	7,200千円				
目的	副読本や学習教材を有効に活用するとともに、地域の特性を取り入れた学習指導の実践や部活動、体育大会等への参加を支援し、学力等の向上を図る。											
主要な事務・事業の概要	○報償費	1,255千円	○委託料	11,581千円								
	・入学記念品（409人分）	266千円	・スクールバス定期外運行運転委託料	10,545千円								
	・卒業記念品（437人分）	989千円	・産学連携事業委託料	1,036千円								
			i情報経営イノベーション専門職大学との連携事業 ※中学校の技術科授業におけるプログラミング教育の指導実践支援									
○需用費	9,379千円	○使用料及び賃借料	124千円									
・消耗品費	8,978千円	・著作物使用料										
学用品、理科実験用品、学力検査、指導書（教職員用）ほか												
・印刷製本費	401千円	○負担金、補助及び交付金	3,532千円									
社会科副読本「京丹後市の歴史」450部 ※令和5年度入学の中学1年生用		・体育大会等選手派遣費補助金										
○役務費	84千円	○学校内での学習活動に加え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を講じながら、可能な限り、各学校の創意工夫や独自性を活かした様々な社会活動、体験活動などの校外学習を行うことで、生徒の基礎学力の向上や社会を生き抜く力を高めることができた。										
・楽器（ティンパニ、チューバほか）運搬手数料（峰山・大宮中学校）		○中学校技術科において、i情報経営イノベーション専門職大学のプログラミング教育の高い専門性と実施のノウハウを現場に取り入れるべく、全中学校の技術教員を対象に授業の研修会を実施し、MESH（プログラミング教育教材）を使った授業を実践することができた。										
		成果・課題										

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	03 中学校費	10,874千円	11,078千円	204千円	98.1%	(参考)当初予算額	11,106千円	課	学校教育課		
	目	02 中学校教育振興費										
	事業	02 中学校教育振興備品整備事業										
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	国補	理科教育設備整備費等補助金（1/2）	912千円	府補	きょうと地域連携交付金（教育振興事業）	2,500千円	寄附金	ふるさと応援寄附金	100千円	
目的	授業に必要な教材備品や学校図書を計画的に整備することで、生徒の主体的、意欲的な学習活動を充実させ、学力の向上を図るとともに豊かな心を育む。											
主要な事務・事業の概要	学習環境を整えるため、必要となる教材備品を購入した。図書については、充足率の向上に努めるよう整備を行うとともに、学校図書館蔵書管理システムを使用して管理を行った。		○備品購入費	10,311千円								
	○需用費	284千円	・教材備品	3,216千円								
	・修繕料（教材備品の修繕）		・学校図書	1,399千円								
			（うち、ふるさと応援寄附金充当額 100千円）									
○役務費	220千円	・理科備品	2,200千円									
・楽器調整手数料（大宮、久美浜中学校分）		・音楽備品	1,829千円									
○使用料及び賃借料	59千円	・プログラミング教材備品	1,667千円									
・ソフトウェア使用料（全中学校分） （学校図書室蔵書管理システム用）		（MESHブロック（プログラミング教育教材）ほか）										
		成果・課題										
		○学習指導要領の下、必要な学習教材、教育備品及び学校図書の整備に努めるとともに、理科備品については、国の補助金を活用し計画的に整備することで、学習指導要領に沿った教育環境を整えることができた。										
		○各中学校の技術科授業において、i情報経営イノベーション専門職大学のプログラミング教育の授業実践と指導方法等の助言を受けた技術教員により、プログラミング教材（MESHブロック）を用いた授業を実践することができた。										

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	03 中学校費	18,894千円	19,641千円	747千円	96.1%		
	目	02 中学校教育振興費				(参考)当初予算額	課	学校教育課
	事業	03 中学校就学援助事業				24,489千円		
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実	国補				就学援助費補助金(1/2)	54千円	
目的	要保護者、準要保護者及び特別支援学級に入級する生徒の保護者等の経済的負担を軽減する。	主な財源	国補	特別支援教育就学奨励費補助金(1/2)	622千円			
			国補	特別支援教育就学奨励費補助金(1/2)	622千円			
主要な事務・事業の概要	○就学援助費	17,450千円	○就学援助世帯貸出用Wi-Fiルーター貸出	19千円				
	<ul style="list-style-type: none"> 要保護認定者 12人 (R3:8人) <ul style="list-style-type: none"> 修学旅行費 107千円 準要保護認定者 129人 (R3:142人) <ul style="list-style-type: none"> 学用品費等 5,748千円 給食費 4,745千円 修学旅行費 2,674千円 医療費 4千円 オンライン学習通信費 1,421千円 準要保護認定者(被災児童) 2人 (R3:1人) <ul style="list-style-type: none"> 学用品費等 99千円 給食費 72千円 <p>※申請者数 152人 (R3:166人) 認定者数 141人 (R3:148人)</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度新入学児童生徒学用品費入学前支給分 支給者数 45人 ※令和5年2月17日支給 	14,592千円	<ul style="list-style-type: none"> 貸出者数 2人 <p>○特別支援教育就学奨励費 1,425千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象者 27人 (R3:29人) <ul style="list-style-type: none"> 学用品費等 576千円 給食費 473千円 修学旅行費 199千円 通学費(交通費) 177千円 ※支給者数 1人 					
成果・課題	<p>○就学に必要な学用品費、給食費、修学旅行費等の支援に加え、新たに障害のある児童生徒の通学費、オンライン学習通信費支援することで、対象生徒の保護者の経済的負担を軽減することができた。</p> <p>○新入学児童生徒学用品費の入学前支給を行ったことで、新入学生徒の保護者の経済的負担を軽減することができた。</p> <p>○制度内容の周知を徹底するとともに、世帯状況や家計状態などを考慮し、公正かつ適正な援助に引き続き努める必要がある。</p>							

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																																							
	項	01 教育総務費	56,940千円	57,945千円	1,005千円	98.2%																																									
	目	02 事務局費				(参考)当初予算額	課	学校教育課																																							
	事業	18 学校情報化推進事業				59,637千円																																									
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実	国補				新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	24,500千円																																								
目的	小中学校の情報通信ネットワークの整備・維持管理を行うとともに、情報管理の徹底と学校情報化を行う。また、ICTを活用した学習環境を推進する。	主な財源	国補	公立学校情報機器整備費補助金(1/2)	660千円																																										
			国補	公立学校情報機器整備費補助金(1/2)	660千円																																										
主要な事務・事業の概要	○需用費	3,332千円	<p><参考>パソコン等台数(令和5年3月末時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>種別</th> <th>小学校</th> <th>中学校</th> <th>事務局</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">普通教室用</td> <td>ノートPC</td> <td>17</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>タブレット</td> <td>146</td> <td>303</td> <td>0</td> <td>449</td> </tr> <tr> <td>タッチパネル式電子黒板</td> <td>146</td> <td>57</td> <td>0</td> <td>203</td> </tr> <tr> <td>校務用</td> <td>ノートPC</td> <td>280</td> <td>198</td> <td>39</td> <td>517</td> </tr> <tr> <td>図書室用</td> <td>ノートPC</td> <td>17</td> <td>6</td> <td>0</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>授業用</td> <td>iPad</td> <td>2,691</td> <td>1,544</td> <td>17</td> <td>4,252</td> </tr> </tbody> </table>					区分	種別	小学校	中学校	事務局	合計	普通教室用	ノートPC	17	0	0	17	タブレット	146	303	0	449	タッチパネル式電子黒板	146	57	0	203	校務用	ノートPC	280	198	39	517	図書室用	ノートPC	17	6	0	23	授業用	iPad	2,691	1,544	17	4,252
	区分	種別						小学校	中学校	事務局	合計																																				
普通教室用	ノートPC	17	0	0	17																																										
	タブレット	146	303	0	449																																										
	タッチパネル式電子黒板	146	57	0	203																																										
校務用	ノートPC	280	198	39	517																																										
図書室用	ノートPC	17	6	0	23																																										
授業用	iPad	2,691	1,544	17	4,252																																										
<ul style="list-style-type: none"> パソコン・校内LAN関連消耗品 12千円 パソコン・校内LAN関連修繕費(40件) 3,320千円 <p>○役務費 1,302千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 通信運搬費 1,106千円 手数料(電子黒板等移設・ごみ持込処理) 196千円 <p>○委託料 26,589千円</p> <ul style="list-style-type: none"> サーバーシステム・パソコン・校内LAN等保守委託料 4,886千円 機器設備撤去及び運搬委託料等(各校情報教室機器等) 2,283千円 校務支援システム保守委託料 729千円 ICT支援員業務委託料(5人) 10,907千円 校務支援システムデータセンター移行業務委託料 5,170千円 校内LAN構築委託料 2,614千円 <p>○使用料及び賃借料 25,708千円</p> <ul style="list-style-type: none"> パソコン借上料(校務用パソコン 575台) 17,366千円 ソフトウェア使用料(校務支援システム等) 8,193千円 クラウドサービス利用料(データセンター使用) 149千円 <p>○備品購入費(校務用プリンタ購入1台) 9千円</p>	9千円	成果・課題	<p>○校務支援システムをクラウドへ移行し、管理コストの削減を図った。</p> <p>○ネットワークを利用した遠隔操作等により、小中学校等に整備した校内LAN、パソコン(校務、普通教室、タブレット)、電子黒板及びサーバー機器、並びにGIGAスクール情報機器等整備事業にて導入したタブレット、プリンタ、電子黒板接続装置等の維持管理を効果的かつ適切に行うことができた。</p> <p>○引続き、ICT支援員を適切に配置しながら、ICT機器や授業支援システムを積極的に利活用し、授業改善につなげていく必要がある。</p>																																												

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	4,020千円	4,223千円	203千円	95.1%	(参考)当初予算額	4,438千円	課	学校教育課		
	目	02 事務局費										
	事業	20 国際交流員招致事業										
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源								
目的	一般財団法人自治体国際化協会の「語学指導等を行う外国青年招致事業（JETプログラム）」を活用して国際交流員を任用し、現代社会のグローバル化に対応する。											
主要な事務・事業の概要	国際交流員を学校教育課に配置し、国際交流や異文化理解について、その専門性や見識や経験を大いに活かした指導、助言を行った。					○自治体国際化協会負担金		474千円				
	○会計年度任用職員（国際交流員）任用経費（1人）			3,430千円		・来日直後オリエンテーション参加費用負担金		103千円				
	・報酬			2,962千円		・国際交流員人員割、傷害保険負担金		113千円				
	（期間：令和4年5月17日から令和5年3月31日）					・来日渡航費用負担金		258千円				
・共済費（社会保険料、雇用保険料）			468千円									
○招致、研修経費			77千円									
・費用弁償、普通旅費			71千円									
・有料道路通行料			5千円									
・駐車場使用料			1千円									
○国際交流員の賃貸住宅に係る経費			39千円		成果・課題	○国際交流員を配置し、その専門性や経験を活かし国際理解教育やグローバル人材育成の推進を図ることができた。 ○継続的な任用のため、国際交流員の心身の負担を軽減できるような生活面におけるサポートの充実が必要である。						
・住居の火災保険料、仲介手数料、礼金			32千円									
・消耗品費			7千円									

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	27,499千円	27,554千円	55千円	99.8%	(参考)当初予算額	42,119千円	課	教育総務課		
	目	04 奨学費										
	事業	01 奨学金事業										
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源								
目的	経済的に困窮している世帯で勉学意欲のある生徒や学生に対し、奨学金の給付及び貸付を行い、就学を支援する。											
主要な事務・事業の概要	経済的に困窮している世帯（家庭）で勉学意欲のある大学生等を対象に奨学金を給付した。また、令和4年度大学等在学者及び令和5年度大学等進学予定者を対象に、奨学金の貸付を行った。					○奨学金貸付金		4,964千円				
	○奨学金選考・検討委員会に係る経費（2回開催）			63千円		・修学支援金（3人）		1,464千円				
	・委員報酬 4千円（半日）× $\left(\begin{array}{l} 6人 \times 1回 \\ 7人 \times 1回 \end{array} \right)$			52千円		大学生等 1,000千円×1人						
	・費用弁償			11千円		大学生等 232千円×2人						
○奨学金給付金			792千円		・入学支度金（5人）		3,500千円					
・大学生等（6人）					進学予定者 700千円×5人							
月額12千円×12月×3人（前・後期）			432千円		○定住促進奨学金返還支援制度		21,680千円					
月額10千円×12月×3人（前・後期）			360千円		・広報チラシ印刷製本費		37千円					
					・大学等へのチラシ送料		52千円					
					・補助金（120人）		21,591千円					
					成果・課題	○勉学意欲と能力のある生徒及び学生への就学支援を行うことにより、困窮世帯の生徒及び学生が勉学に取り組むための環境を整えることができた。 ○新型コロナウイルス感染症の影響等により経済状況が一層厳しい中で、給付奨学金の随時申請や奨学金返還猶予など制度を周知し、支援に努めた。 ○令和3年度に創設した定住促進奨学金返還補助事業について、制度周知に努めた結果、交付初年度となる令和4年度、多くの交付につながった。						

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局		
	項	01 教育総務費	721千円	722千円	1千円	99.8%		課	教育総務課	
	目	04 奨学費				(参考)当初予算額				
	事業	02 奨学基金	12千円							
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	財産収入 奨学基金利子収入 36千円 諸収入 奨学資金貸付償還金滞納繰越分 685千円						
目的	経済的理由により大学等への修学が困難な者に対し、奨学金を給付することを目的とした奨学基金への積立金									
主要な事務・事業の概要	○奨学基金積立金 721千円									
	・旧網野町で貸し付けた奨学資金償還金分 685千円									
	・利子分 36千円									
		(単位：千円)								
		令和3年度末	令和4年度中増減額			令和4年度末				
		現在高	繰入金	運用利子	積立金	現在高				
		①	②	③	④	①-②+③+④				
		136,389	792	36千円	685千円	136,318				
		(充当：1事業)								
		・奨学金事業 792千円								
				成果・課題						

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局		
	項	01 教育総務費	2,845千円	2,846千円	1千円	99.9%		課	教育総務課	
	目	04 奨学費				(参考)当初予算額				
	事業	03 谷口謙・未来応援基金	1,899千円							
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	財産収入 谷口謙・未来応援基金利子収入 23千円 諸収入 奨学資金貸付償還金 2,772千円						
目的	経済的理由により大学等への進学及び修学が困難な者に対し、奨学金を貸し付けることを目的とした谷口謙・未来応援基金への積立金									
主要な事務・事業の概要	○谷口謙・未来応援基金積立金 2,845千円									
	・京丹後市貸付奨学金で貸し付けた奨学資金償還金分 2,822千円									
	・利子分 23千円									
		(単位：千円)								
		令和3年度末	令和4年度中増減額			令和4年度末				
		現在高	繰入金	運用利子	積立金	現在高				
		①	②	③	④	①-②+(③+④)				
		70,901	4,964	23	2,822	68,782				
		(充当：1事業)								
		・奨学金事業 4,964千円								
				成果・課題						

京丹後市教育振興計画

施策評価・進捗管理調書(内部評価結果)

担当課	担当課長
教育総務課	西村 隆
学校教育課	川村 義輝
生涯学習課	安達 純

重点目標	3	子どもを健やかに育む教育環境を充実します
基本的方針	災害や事件・事故等に備えた安全確保のため、学校施設の老朽化対策等を計画的に進めるとともに、児童生徒が自らの安全を守るための能力を身に付けさせる安全教育や、また、ボランティアの協力を得る等、地域が一体となって支える教育環境づくりを進めます。 また、年齢や性別、国籍、障害の有無等に関わらず、すべての子どもの健やかな育ちを保障する教育環境を整備します。 教職員の業務改善・時間外勤務縮減を強力に実行し、教職員が一人ひとりの子どもに向き合える環境を整備します。	

1. 施策の方向性

PLAN

1. 子どもの安全・安心の確保	①児童生徒を事件や事故から守るため、スクールガード・リーダーによる巡回指導や子ども安心パトロール車の運行等、保護者や地域ボランティアの協力を得ながら、学校内外における安全確保に努めます。 ②学校再配置による校区の拡充に伴い、遠距離通学用スクールバスの安全な運行管理及び車両管理を実施します。 ③児童生徒自身の危機対応能力を育むため、各学校の危機管理マニュアルに基づく防災教育や安全教育を計画的・継続的に実施します。
2. 学校施設環境等の整備充実	①少子化の進行を踏まえ、適正な学校規模を検討する中で、必要な施設整備を進めます。 ②教育環境の維持・改善のため、トイレの洋式化をはじめ学校施設・設備の改修、修繕等を計画的に進めます。 ③児童生徒の安全確保に向け、計画的かつ効果的な学校施設の老朽化対策を進めます。 ④安全・安心な学校給食を提供するため、より衛生的で安全性を重視した給食施設の整備を計画的に進めます。
3. 個に応じた支援体制の充実	①発達障害等を含む障害のある子ども一人ひとりのニーズに対応したきめ細かな支援により教育の一層の充実を図るため、学校園と保護者、行政、医療及び関係機関等が広く連携し、乳幼児期から青年期までを見通した特別支援教育の体制整備を進めます。 ②外国語を母語とするなど日本語の習得が十分ではない児童生徒に対し、スクールサポーターを配置するなど個別に日本語支援を行う体制を整備します。
4. ボランティアによる学習支援の推進	①市民のボランティア意識を高め、地域と学校の連携・協働の下、学校の教育活動に地域のボランティアが参画する「地域学校協働本部事業」の推進など自らの知識や学習で培った技術などを学校で、児童に紹介する機会づくりを進めます。 ②市民ボランティアが、地域の中で、子どもたちの活動を支える環境づくりを進めます。
5. 教職員が子どもと向き合える環境づくりの推進	①本市の教職員の働き方改革実行計画を強力に進め、教職員が心身ともに健康で、一人ひとりの子どもに颯爽と向き合える環境づくりを進めます。 ②教職員のメンタルヘルス対策の推進、校務支援システムの活用、部活動指導員の配置等、教職員の負担を軽減する取組を推進します。 ③「京都式チーム学校」をより良く機能させるために、多様な専門性を有する人材の配置充実や学校体制の強化を図り、学校現場における業務改善の取組・教員の負担軽減策を推進します。

【参考】施策に関連するその他の計画

計画名称	計画概要	策定年月	計画期間	備考
第2次京丹後市総合計画	市の目指す基本理念、目標、将来像などを示した「基本構想」と、その構想を実現するための各種施策を総合的、計画的に体系化した「基本計画」	平成27年3月	平成27年度～令和6年度	
京丹後市学校施設耐震化計画	耐震化に対する国の動向や財政措置の状況を的確にとらえつつ、本市における学校施設の耐震化を可能な限り早く、計画的に進めていくことを目的に、本計画を定めるもの	平成22年11月	平成22年度～平成26年度	
京丹後市学校適正配置基本計画	急速に少子化が進むなか、本市の次代を担っていく子どもたちに、より良い教育環境や教育条件を整えるため、学校力を高めるための学校規模などを考えた学校適正配置の取組を進めていくために策定	令和4年2月	令和3年度～令和12年度	前期(R3～R7年度)と後期(R8～R12年度)に区分し、段階的に再配置を進める
京丹後市学校施設の長寿命化計画(学校施設の個別施設計画)	文部科学省インフラ長寿命化計画(行動計画)の方針に基づき、学校施設の実態把握及び分析を行い、本市の実情に即した基本的な整備方針や施設整備の水準について示し、長寿命化の観点から財政負担の低減及び平準化を図り、学校施設の維持管理を進めていくことを目的に策定	令和3年3月	令和3年度～令和12年度	

2. 主な取組と構成事務事業一覧 **PLAN** **DO** ※各事業の成果・課題については、別紙決算附属資料参照 **CHECK** **ACT**

1. 子どもの安全・安心の確保		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		R3決算額	R4決算額	R5予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
① 児童生徒を事件や事故から守るため、スクールガード・リーダーによる巡回指導や子ども安心パトロール車の運行等、保護者や地域ボランティアの協力を得ながら、学校内外における安全確保に努めます。 ② 学校再配置による校区の拡充に伴い、遠距離通学用スクールバスの安全な運行管理及び車両管理を実施します。 ③ 児童生徒自身の危機対応能力を育むため、各学校の危機管理マニュアルに基づく防災教育や安全教育を計画的・継続的に実施します。						
1	学校医委嘱事業	学校教育課	19,758	19,672	19,611	現状維持
学校保健安全法に基づき、各学校に学校医、学校歯科医、学校薬剤師を置き、児童生徒の健康の保持増進及び教育現場の環境衛生の維持向上を図る。						
2	学務経費	学校教育課	5,429	4,763	4,972	現状維持
学校保健安全法に基づく就学時健康診断を行うとともに、学齢簿の管理、学校管理下での安全衛生や事故災害に対応する。また、丹後教科用図書採択地区協議会において教科用図書の調査・研究を行い、市立小中学校で使用する教科用図書の公正かつ適正な採択を行う。						
3	学校安全対策事業	学校教育課	5,039	6,514	6,693	現状維持
保護者や地域の協力を得ながら安全で安心できる学校づくりを推進し、児童生徒を事件や事故から守る。						
4	児童教職員健康管理事業	学校教育課	9,538	7,810	9,878	現状維持
児童及び教職員の健康管理を行うとともに、設備の安全対策を講じることにより、児童及び教職員の健康の保持増進と小学校の教育活動における安全・安心な環境を整える。						
5	児童教職員健康管理事業【繰越】	学校教育課	13,924	15,638	-	
新型コロナウイルスの感染流行が長期化する中、児童の安全安心な学習環境を確保しつつ教育活動を着実に継続するために必要な環境整備を推進する。						
6	生徒教職員健康管理事業	学校教育課	6,393	5,608	6,609	現状維持
生徒及び教職員の健康管理を行うとともに、設備の安全対策を講じることにより、生徒及び教職員の健康の保持増進と中学校の教育活動における安全・安心な環境を整える。						
7	生徒教職員健康管理事業【繰越】	学校教育課	5,594	5,681	-	
新型コロナウイルスの感染流行が長期化する中、生徒の安全安心な学習環境を確保しつつ、教育活動を着実に継続するために必要な環境整備を推進する。						
8	小学校スクールバス運行管理事業	学校教育課	88,791	83,322	83,293	現状維持
遠距離通学及び通学路の状況や冬期積雪時等、特に必要と認めた児童の通学のためにスクールバスを運行する。						
9	小学校通学支援事業	学校教育課	283	202	267	現状維持
遠距離通学をする児童を対象に、通学の状況に応じて遠距離通学補助金を支給し、通学の安全確保と保護者の負担軽減を図る。						
10	中学校スクールバス運行管理事業	学校教育課	71,704	60,100	64,348	現状維持
遠距離通学及び通学路の状況や冬期積雪時等、特に必要と認めた生徒の通学のためにスクールバスを運行する。						
11	中学校通学支援事業	学校教育課	195	188	176	現状維持
自転車通学をする生徒を対象に、通学の状況に応じてヘルメット購入補助金を支給し、通学の安全確保と保護者の負担軽減を図る。						
2. 学校施設環境等の整備充実		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		R3決算額	R4決算額	R5予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
① 少子化の進行を踏まえ、適正な学校規模を検討する中で、必要な施設整備を進めます。 ② 教育環境の維持・改善のため、トイレの洋式化をはじめ学校施設・設備の改修、修繕等を計画的に進めます。 ③ 児童生徒の安全確保に向け、計画的かつ効果的な学校施設の老朽化対策を進めます。 ④ 安全・安心な学校給食を提供するため、より衛生的で安全性を重視した給食施設の整備を計画的に進めます。						
12	学校適正配置推進事業	学校教育課	-	-	-	現状維持
京丹後市学校適正配置基本計画に基づく「学校づくり準備協議会」を設置し、学校再配置による新しい学校づくりに向けた取組を推進する。						
13	小学校施設改修事業	教育総務課	70,973	118,630	285,840	現状維持
小学校施設における改修工事等を行い、児童が安全に、安心して学校生活を送ることができる教育環境を整備する。						
14	小学校施設管理事業	教育総務課	27,171	30,990	25,597	現状維持
学校施設の適切な維持管理により、良好な学習環境の確保を図る。						
15	中学校施設改修事業	教育総務課	210,763	12,756	350,600	現状維持
中学校施設における改修工事等を行い、生徒が安全に、安心して学校生活を送ることができる教育環境を整備する。						
16	中学校施設改修事業【繰越】	教育総務課	4,921	-	-	
「新しい生活様式」を踏まえ、健やかな学びの保障を目指すため、新型コロナウイルス感染症対策として特別教室の空調化設計を行い、教育環境を整備する。						

2. 学校施設環境等の整備充実		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		R3決算額	R4決算額	R5予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)					担当課
17	中学校施設管理事業	教育総務課	9,548	10,237	10,287	現状維持
	学校施設の適切な維持管理により、良好な学習環境の確保を図る。					
18	小学校管理運営事業	学校教育課	151,908	159,820	171,246	現状維持
	適正な学校運営や教育環境の充実に取り組み、小学校における円滑な教育活動を実施する。					
19	中学校管理運営事業	学校教育課	64,079	71,335	73,037	現状維持
	適正な学校運営や教育環境の充実に取り組み、中学校における円滑な教育活動を実施する。					
20	網野給食センター管理運営事業	学校教育課	31,452	33,133	39,151	拡大
	網野地域の小学校及び中学校に栄養バランスの取れた給食を提供し、児童生徒の心身の健全な発達に寄与する。					
21	小学校給食管理運営事業	学校教育課	167,910	192,224	223,308	拡大
	児童の心身の健全な発達に寄与するため、栄養バランスのとれた給食を提供する。					
22	中学校給食管理運営事業	学校教育課	49,871	71,672	81,522	拡大
	生徒の心身の健全な発達に寄与するため、栄養バランスのとれた給食を提供する。					
23	学校給食センター施設整備事業	教育総務課		4,953	567,000	拡大
	「学校給食衛生管理基準」に適合し、食物アレルギー対応を考慮した、より衛生的で安全性を持つ給食施設を整備する。					
24	学校給食一般経費	学校教育課	560	496	893	現状維持
	学校給食における衛生管理の徹底を図るとともに、献立研究会の活発な活動を促し、衛生管理や栄養面等での充実を図る。					
25	公立学校施設災害復旧事業	教育総務課	3,850	1,573	-	縮小
	台風11号及び台風14号の強風等により被災した学校施設の復旧を図る。					
3. 個に応じた支援体制の充実		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		R3決算額	R4決算額	R5予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)					担当課
① 発達障害等を含む障害のある子ども一人ひとりのニーズに対応したきめ細かな支援により教育の一層の充実を図るため、学校園と保護者、行政、医療及び関係機関等が広く連携し、乳幼児期から青年期までを見通した特別支援教育の体制整備を進めます。						
② 外国語を母語とするなど日本語の習得が十分ではない児童生徒に対し、スクールサポーターを配置するなど個別に日本語支援を行う体制を整備します。						
26	小学校スクールサポーター等設置事業	学校教育課	60,282	60,714	86,210	現状維持
	スクールサポーターを配置し、児童一人ひとりの課題・特性を的確に把握し、よりきめ細やかな指導に努めるとともに、円滑な授業を実施する。					
27	中学校スクールサポーター等設置事業	学校教育課	38,027	41,152	47,932	現状維持
	スクールサポーターを配置し、生徒一人ひとりの課題・特性を的確に把握し、よりきめ細やかな指導に努めるとともに、円滑な授業を実施する。					
4. ボランティアによる学習支援の推進		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		R3決算額	R4決算額	R5予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)					担当課
① 市民のボランティア意識を高め、地域と学校の連携・協働の下、学校の教育活動に地域のボランティアが参画する「地域学校協働本部事業」の推進など自らの知識や学習で培った技術などを学校で、児童に紹介する機会づくりを進めます。						
② 市民ボランティアが、地域の中で、子どもたちの活動を支える環境づくりを進めます。						
28	地域学校協働本部事業(再掲)	生涯学習課	-	-	-	現状維持
	「教育と学びのまち 京丹後」の実現に向け、「学校のニーズ」と「地域の人の持つ力」を結び付け、学校・家庭及び地域が協力して子どもを育む環境の充実を図る。					
5. 教職員が子どもと向き合える環境づくりの推進		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		R3決算額	R4決算額	R5予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)					担当課
① 本市の教職員の働き方改革実行計画を強力に進め、教職員が心身ともに健康で、一人ひとりの子どもに颯爽と向き合える環境づくりを進めます。						
② 教職員のメンタルヘルス対策の推進、校務支援システムの活用、部活動指導員の配置等、教職員の負担を軽減する取組みを推進します。						
③ 「京都式チーム学校」をより良く機能させるために、多様な専門性を有する人材の配置充実や学校体制の強化を図り、学校現場における業務改善の取組み・教員の負担軽減策を推進します。						
29	共同学校事務室運営事業	学校教育課	226	3,000	4,360	現状維持
	学校事務処理の適正化及び標準化、効率化、学校マネジメント機能の強化等を図るため、全学園に共同学校事務室を設置し、学校の教育力・組織力の向上を推進する。					
上記の「主な取り組み」への位置付けが困難な事業		決算額(単位:千円)			事務の改善	
↓		R3決算額	R4決算額	R5予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
事務事業名称・事業内容(実績)						担当課
30	児童福祉総務一般経費	子ども未来課	14,094	4,269	3,824	改善・効率化
	児童福祉業務を円滑に遂行するために必要な一般経費					

上記の「主な取り組み」への位置付けが困難な事業		決算額(単位:千円)			事務の改善	
事務事業名称・事業内容(実績)		担当課	R3決算額	R4決算額	R5予算額	評価を踏まえた今後の方向性
31	教育委員会一般経費	教育総務課	3,884	4,162	4,042	現状維持
地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、教育委員会を運営する。						
32	事務局一般経費	教育総務課	7,169	8,339	13,764	現状維持
教育委員会事務局の円滑な運営及び公用車の適正な維持管理を行うほか、全国部活動特別入学者選抜により市内の高等学校に入学する生徒を応援する補助金を交付し、生徒の就学支援及び地域の活性化を図った。						
33	学校跡施設管理事業	教育総務課	209,131	3,310	2,471	拡大
学校再配置により閉校となった学校施設の維持管理を行うとともに、利活用の推進を図る。						
34	学校跡施設管理事業【繰越】	教育総務課	-	138,341	-	/
学校再配置により閉校となった学校施設の維持管理を行うとともに、利活用の推進を図る。						
35	学校教育施設整備基金	教育総務課	1,606	1,712	1,692	現状維持
学校跡施設の建物貸付料をもとに、学校教育施設の整備等を進めることを目的とした学校教育施設整備基金への積立金						
計			1,354,073	1,182,316	2,188,623	

3. 教育振興計画で掲げている主な目標指標

基本的方針	災害や事件・事故等に備えた安全確保のため、学校施設の老朽化対策等を計画的に進めるとともに、児童生徒が自らの安全を守るための能力を身に付けさせる安全教育や、また、ボランティアの協力を得る等、地域が一体となって支える教育環境づくりを進めます。また、年齢や性別、国籍、障害の有無等に関わらず、すべての子どもの健やかな育ちを保障する教育環境を整備します。教職員の業務改善・時間外勤務縮減を強力に実行し、教職員が一人ひとりの子どもに向き合える環境を整備します。							
	目標指標	単位	計画作成時 年度	実績値(現状) 年度	目標値 年度			
主な目標指標	市立小学校の耐震化	%	88.5 H25	100 R4	100 R6			
	市立中学校の耐震化	%	93.5 H25	100 R4	100 R6			
	非構造部材の耐震対策	%	0(調査中) H26	100 R4	100 R6			
	児童生徒用トイレの洋式化整備校数<小学生>	校	-	16 R4	17 R6			
	児童生徒用トイレの洋式化整備校数<中学生>	校	-	1 R4	6 R6			
	学校支援ボランティア登録者数	人	427 H25	557 R4	600 R6			
	時間外勤務月45時間超(年平均)の教職員数<小学校>	人	- H25	112 R4	0 R6			
	時間外勤務月45時間超(年平均)の教職員数<中学校>	人	- H25	106 R4	0 R6			

4. 施策の進捗状況の評価と今後の課題[基本的方針の達成に向け、施策がどの程度進捗しているか]

CHECK **ACT**

進捗状況区分	評価	令和4年度成果と今後の課題
◎ 予定以上に進んでいる	○	《市立小学校の耐震化》 学校施設耐震化計画による小学校の耐震化は平成27年度をもって完了した。
○ 予定どおり進んでいる		《市立中学校の耐震化》 学校施設耐震化計画による中学校の耐震化は平成26年度をもって完了した。
▲ 少し遅れている		《非構造部材の耐震対策》 国が指導する大規模空間(体育館やランチルームなど200㎡以上の空間を有する箇所等)の非構造部材耐震対策は、平成28年度をもって完了した。
×		《児童生徒用トイレの洋式化整備校数》 小学校を優先して学校施設の児童生徒用、身障者用、体育館等のトイレ洋式化整備を計画的に実施するため、前年度に設計業務を行い、翌年度に整備工事を実施する。令和4年度は、峰山小・長岡小学校の2校を整備した。
		《学校支援ボランティア登録者数》 ボランティア登録者数は名簿の整理を行ったことから減少した。高齢化が進んでいるため、学校のニーズに応じたボランティアの確保が課題である。
	《時間外勤務月45時間超(年平均)の教職員数》 令和3年度はコロナ禍の中、小学校で前年度比5.1%の増加となったが、令和4年度は、前年度比で7.4%の減少、令和2年度比でも2.3%の減少となった。令和5年度は京丹後市教職員の働き方改革実行計画の段階的目標設定(45時間以内100%達成)の最終年度となっているので、目標達成を目指し、教育委員会事務局と学校とがさらに連携を強化して取組を推進していく必要がある。	

5. 今後の施策展開の考え方(令和5年～令和6年度までの主な取組)

ACT

区分	No.	具体的内容
施策展開の考え方	1	児童生徒を事件や事故から守るため、スクールガード・リーダーによる巡回指導及び子ども安心パトロール車の運行を継続して実施するとともに、除雪活動や子どもたちを見守る地域ボランティア等の拡充を図る。
	2	老朽化が進む学校施設を適切に維持管理を行うとともに教育環境の改善を図るため、計画的にトイレの洋式化事業を進める。また学校施設の長寿命化計画を定め、中長期的な視点で改修等を行う。
	3	特別な支援が必要な子どものニーズに対応するため、学校園へのスクールサポーター(介護支援員)を継続配置するとともに、学校園及び保護者、関係機関が連携し、特別支援教育体制整備の推進を図る。
	4	ボランティア人材の発掘・育成・確保に重点を置きながら、より効果的、効率的なコーディネーターの配置等、多様化する学校ニーズに対応できる推進体制整備を図る。

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	19,672千円	19,683千円	11千円	99.9%	(参考)当初予算額	19,665千円				
	目	02 事務局費										
	事業	04 学校医委嘱事業										
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源										
目的	学校保健安全法に基づき、各学校に学校医、学校歯科医、学校薬剤師を置き、児童生徒の健康の保持増進及び教育現場の環境衛生の維持向上を図る。											
主要な事務・事業の概要	○報酬		19,649千円	○旅費		23千円						
	・医師報酬			・費用弁償								
	小学校	17校分	5,967千円									
	中学校	6校分	2,548千円									
医師実人数11人（複数校の兼務あり）												
・歯科医報酬												
小学校	17校分	5,967千円										
中学校	6校分	2,548千円										
歯科医実人数14人（複数校の兼務あり）												
・薬剤師報酬												
小学校	17校分	2,064千円										
中学校	6校分	555千円										
薬剤師実人数8人（複数校の兼務あり）												
成果・課題	学校医、学校歯科医、学校薬剤師の配置により、健康診断（内科・歯科等）、学校環境衛生検査はもとより、保健管理等に関する専門的指導を必要に応じて受けることができ、児童生徒の健康の保持増進及び教育現場の環境衛生の維持向上を図ることができた。											

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	4,763千円	4,952千円	189千円	96.1%	(参考)当初予算額	4,952千円				
	目	02 事務局費										
	事業	05 学務経費										
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源										
目的	学校保健安全法に基づく就学時健康診断を行うとともに、学齢簿の管理、学校管理下での安全衛生や事故災害に対応する。 また、小中学校の枠を超えた取組として、特別支援学級ふれあい交流会を実施する。											
主要な事務・事業の概要	○就学時健康診断（受診人数：390人）		820千円	○（独）日本スポーツ振興センター共済掛金		3,376千円						
	医師謝金、消耗品費、費用弁償			小学生2,338人、中学生1,285人								
	○学務経費		409千円	○負担金		158千円						
	・児童生徒・教職員健康診断		16千円	・京都府学校保健会負担金		44千円						
消耗品費、印刷製本費、施設使用料			・京都府学校保健主事会負担金		18千円							
・学齢簿関連システム保守委託料		264千円	・京都府特別支援教育研究協議会負担金		10千円							
・人権教育研究会（消耗品費）		46千円	・教育研究事業負担金		86千円							
・特別支援学級ふれあい交流会（消耗品費）		43千円										
【各学園ふれあい交流会】												
小学校及び中学校の特別支援学級の児童・生徒が集まって交流												
実施中学校区：全中学校区												
【中学校体育交流会】												
全中学校の特別支援学級の生徒が集まって交流												
・各種通知封筒印刷		40千円	成果・課題		○各学校の保健衛生環境の維持向上、健康の保持増進を図り、健全で安全な教育環境の推進につながった。 ○特別支援学級の交流活動の実施など、教育活動の充実のための環境づくりができた。							

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	6,514千円	6,950千円	436千円	93.7%		
	目	02 事務局費				(参考)当初予算額		
	事業	06 学校安全対策事業				7,210千円	課	学校教育課
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	府補 地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業補助金 (2/3) 817千円	繰入金 ふるさと応援基金繰入金 2,000千円	諸収入 市有自動車損害共済金 25千円		
目的	保護者や地域の協力を得ながら安全で安心できる学校づくりを推進し、児童生徒を事件や事故から守る。							
主要な事務・事業の概要	○子ども安心パトロール車（にこにこカー）の運行管理 4,637千円 各学校に20台、教育委員会事務局に1台を配置し、児童生徒の登下校時に教職員やPTA、地域の見守り隊が巡回し安全確保や犯罪被害防止に努めた。		○スクールガード・リーダー（5人） 1,759千円 警察官OBの5人をスクールガード・リーダーに委嘱し、小学校を中心に登下校時の巡回活動及び学校の安全指導を行った。		○学校の除雪活動 118千円 積雪時の通学の安全性を高めるため、ボランティアによる除雪活動体制づくりを支援した。			
	・維持管理費及び運行経費 燃料費（ガソリン代） 1,065千円 消耗品費・修繕料（車検、車両消耗品ほか） 2,210千円 手数料・保険料・公課費 1,362千円		・報償金（活動謝金） 年間巡回活動等の実績：330回 1,756千円 ・保険料（総合補償保険料） 3千円		○各小中学校で、教職員やPTA、地域の見守り隊（ボランティア）等による地域ぐるみの見守り活動が展開されるなど、学校を支える地域の安全体制づくりを推進することで、児童、生徒の安全につながっている。 ○関係機関と協力し、クマやサルなどの野生動物の出没情報をいち早く学校と共有し、児童・生徒への被害を未然に防ぐ必要がある。 ○通学路の安全性をより高めるため、関係機関と連携し除雪体制を推進する必要がある。			
	配車一覧							
	1	峰山小、長岡小	8	いさなご小	15	峰山中		
2	大宮第一小	9	網野南小	16	大宮南小			
3	網野中	10	橋小	17	島津小			
4	丹後中	11	宇川小	18	網野北小			
5	大宮中	12	弥栄小	19	丹後小			
6	高龍小	13	久美浜中	20	かぶと山小、久美浜小			
7	教育委員会事務局	14	弥栄中、吉野小	21	しんざん小			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	02 小学校費	7,810千円	14,631千円	6,821千円	53.3%		
	目	01 小学校管理費				(参考)当初予算額		
	事業	04 児童教職員健康管理事業				9,921千円	課	学校教育課
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	国補 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 400千円	府負 7ヶ素による子どものむし歯予防事業費補助金 (1/2) 118千円			
目的	児童及び教職員の健康管理を行うとともに、設備の安全対策を講じることにより、児童及び教職員の健康の保持増進と小学校の教育活動における安全・安心な環境を整える。							
主要な事務・事業の概要	○需用費（保健衛生消耗品、医薬材料） 1,674千円 （うち感染症対策に要した消耗品等 423千円） （うちフッ化物洗口に要した消耗品 274千円）		○使用料及び賃借料 1,127千円 ・自動車借上料（検診時医師送迎用ほか） 47千円 ・機械器具借上料（AEDリース料・17校分） 1,080千円					
	○委託料 5,009千円 ・児童検診委託料 3,804千円 心臓検診委託料 1次 817人（1・4年、経過観察者） 2次 105人 眼科検診委託料 2,346人 耳鼻科検診委託料 2,329人 尿検査委託料（春）1次 2,337人 2次 26人 尿検査委託料（秋）1次 2,341人 2次 20人 脊柱側湾症検診委託料 13人（校医抽出者） 結核検診料 2人		■令和5年度への繰越事業 6,706千円 小学校新型コロナウイルス感染症対策事業 令和6年3月完了予定					
	・教職員健康診断委託料 1,013千円 ・教職員結核検診委託料 192千円		参考		繰越明許費を除いた最終予算額 7,925千円 実質的な予算執行率 98.5%			
			成果・課題		○新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策や各種健康診断を実施するなどし、児童及び教職員の健康を保持増進するとともに、学校の安全・安心な環境を整備することができた。 ○市内全小学校においてフッ化物洗口を実施し、児童のむし歯予防の環境を整えることができた。			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	03 中学校費	5,681千円	5,850千円	169千円	97.1%		
	目	01 中学校管理費				(参考)繰越予算額		
	事業	04 生徒教職員健康管理事業(繰越)				5,850千円		
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		国補	学校保健特別対策事業費補助金(1/2)		2,840千円	課	学校教育課
目的	新型コロナウイルスの感染流行が長期化する中、生徒の安全安心な学習環境を確保しつつ、教育活動を着実に継続するために必要な環境整備を推進する。		主な財源					
主要な事務・事業の概要	○需用費 276千円 ・消耗品費 (感染症対策に要した消耗品:手指消毒液、消毒用ビニール手袋ほか)							
	○備品購入費 5,405千円 ・備品購入費 (感染症対策に要した備品:空気清浄機、サーマルカメラ、CO ₂ モニターほか)							
成果・課題	文部科学省の学校保健特別対策事業費補助金(学校等における感染症対策等支援事業)を活用し、新型コロナウイルスの感染流行が長期化する中、生徒の安全安心な学習環境を確保したうえで、教育活動を着実に継続することができた。							

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																													
	項	02 小学校費	83,322千円	92,152千円	8,830千円	90.4%																															
	目	01 小学校管理費				(参考)当初予算額																															
	事業	05 小学校スクールバス運行管理事業				101,484千円																															
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源																																		
目的	遠距離通学及び通学路の状況や冬期積雪時等、特に必要と認められた児童の通学のためにスクールバスを運行する。																																				
主要な事務・事業の概要	○スクールバス運行管理委託料 78,035千円 ※バスの運転及び車両の維持管理を業者委託																																				
	<table border="1"> <tr> <td>いさなご小</td> <td>3台</td> <td>橘小</td> <td>1台</td> <td>弥栄小</td> <td>3台</td> </tr> <tr> <td>しんざん小</td> <td>1台</td> <td>島津小</td> <td>1台</td> <td>久美浜小</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>大宮南小</td> <td>3台</td> <td>丹後小</td> <td>4台</td> <td>高龍小</td> <td>4台</td> </tr> <tr> <td>網野南小</td> <td>3台</td> <td>宇川小</td> <td>1台</td> <td>かぶと山小</td> <td>4台</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>計</td> <td colspan="3">29台</td> </tr> </table>		いさなご小	3台	橘小	1台	弥栄小	3台	しんざん小	1台	島津小	1台	久美浜小	1台	大宮南小	3台	丹後小	4台	高龍小	4台	網野南小	3台	宇川小	1台	かぶと山小	4台			計	29台							
いさなご小	3台	橘小	1台	弥栄小	3台																																
しんざん小	1台	島津小	1台	久美浜小	1台																																
大宮南小	3台	丹後小	4台	高龍小	4台																																
網野南小	3台	宇川小	1台	かぶと山小	4台																																
		計	29台																																		
成果・課題	○運転手適性診断(中学校分含む) 99千円 ・受講手数料、費用弁償、有料道路使用料																																				
成果・課題	○車両維持管理経費 5,178千円 ・消耗品費 39千円 ・修繕料 537千円 ・燃料費(R4.10~R5.3) 4,602千円																																				
成果・課題	○バス停維持管理経費 10千円 ・火災保険料、土地借上料(15.66㎡)																																				
成果・課題	■令和5年度への繰越事業 ・小学校スクールバス安全装置購入事業(令和5年9月完了予定) 5,250千円 ・小学校スクールバス購入事業(令和5年5月完了) 3,441千円																																				
成果・課題	○スクールバスの運行により、小学校に通学する児童の安全な通学手段を確保することができた。 ○65歳以上の運転手に対し、新たに運転手適性診断の受講を義務付け、安全安心な運行の徹底に努めた。 ○より安全なスクールバスの運行を行うため、引き続き運行管理委託業者への指導及びドライバーへの安全啓発等を行う必要がある。 ○燃料代の高騰を考慮し、燃料費は委託契約内には含めず、実績に応じて清算を行った。																																				
参考	<table border="1"> <tr> <td>繰越明許費を除いた最終予算額</td> <td>83,481千円</td> </tr> <tr> <td>実質的な予算執行率</td> <td>99.8%</td> </tr> </table>		繰越明許費を除いた最終予算額	83,481千円	実質的な予算執行率	99.8%																															
繰越明許費を除いた最終予算額	83,481千円																																				
実質的な予算執行率	99.8%																																				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局													
	項	02 小学校費	202千円	222千円	20千円	90.9%															
	目	01 小学校管理費				(参考)当初予算額															
	事業	06 小学校通学支援事業				222千円	課	学校教育課													
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源																		
目的	遠距離通学をする児童を対象に、通学の状況に応じて遠距離通学補助金を支給し、通学の安全確保と保護者の負担軽減を図る。																				
主要な事務・事業の概要	○遠距離通学補助金		202千円																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>対象児童数</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大宮南小学校</td> <td>4人</td> <td>60千円</td> </tr> <tr> <td>宇川小学校</td> <td>9人</td> <td>142千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>13人</td> <td>202千円</td> </tr> </tbody> </table>		学校名	対象児童数	補助金額	大宮南小学校	4人	60千円	宇川小学校	9人	142千円	計	13人	202千円							
	学校名	対象児童数	補助金額																		
大宮南小学校	4人	60千円																			
宇川小学校	9人	142千円																			
計	13人	202千円																			
				成果・課題	遠距離通学をする児童を対象とした遠距離通学の支援を行うことで、通学の安全確保と保護者の負担軽減を図ることができた。																

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局														
	項	03 中学校費	60,100千円	60,220千円	120千円	99.8%																
	目	01 中学校管理費				(参考)当初予算額																
	事業	05 中学校スクールバス運行管理事業				65,529千円	課	学校教育課														
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源																			
目的	遠距離通学及び通学路の状況や冬期積雪時等、特に必要と認めた生徒の通学のためにスクールバスを運行する。																					
主要な事務・事業の概要	○スクールバス運行管理委託料		54,648千円																			
	※バスの運転及び車両の維持管理を業者委託																					
	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>峰山中学校</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>大宮中学校</td> <td>(1台)</td> </tr> <tr> <td>網野中学校</td> <td>3台</td> </tr> <tr> <td>丹後中学校</td> <td>2台</td> </tr> <tr> <td>弥栄中学校</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>久美浜中学校</td> <td>10台</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>17台(18台)</td> </tr> </tbody> </table>		峰山中学校	1台	大宮中学校	(1台)	網野中学校	3台	丹後中学校	2台	弥栄中学校	1台	久美浜中学校	10台	計	17台(18台)						
峰山中学校	1台																					
大宮中学校	(1台)																					
網野中学校	3台																					
丹後中学校	2台																					
弥栄中学校	1台																					
久美浜中学校	10台																					
計	17台(18台)																					
				成果・課題	○スクールバスの運行により、中学校に通学する生徒の安全な通学手段を確保することができた。 ○より安全なスクールバスの運行を行うため、引き続き運行管理委託業者への指導及びドライバーへの安全啓発等を行う必要がある。 ○燃料代の高騰を考慮し、燃料費は委託契約内には含めず、実績に応じて清算を行った。																	
		○車両維持管理経費		5,422千円																		
		・消耗品費		13千円																		
		・修繕料		398千円																		
		・燃料費(R4.10~R5.3)		5,011千円																		
		○バス停・車庫維持管理経費		30千円																		
		・燃料費(ガス代)、火災保険料																				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																							
	項	03 中学校費							188千円	195千円	7千円	96.4 %																			
	目	01 中学校管理費											(参考)当初予算額																		
	事業	06 中学校通学支援事業												195千円																	
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源																													
目的	自転車通学をする生徒を対象に、通学の状況に応じてヘルメット購入補助金を支給し、通学の安全確保と保護者の負担軽減を図る。																														
主要な事務・事業の概要	○通学用ヘルメット購入補助金（補助率1/2）			188千円																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>対象生徒数</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山中学校</td> <td>86人</td> <td>86千円</td> </tr> <tr> <td>大宮中学校</td> <td>35人</td> <td>35千円</td> </tr> <tr> <td>網野中学校</td> <td>14人</td> <td>14千円</td> </tr> <tr> <td>丹後中学校</td> <td>19人</td> <td>19千円</td> </tr> <tr> <td>弥栄中学校</td> <td>28人</td> <td>28千円</td> </tr> <tr> <td>久美浜中学校</td> <td>6人</td> <td>6千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>188人</td> <td>188千円</td> </tr> </tbody> </table>			学校名	対象生徒数	補助金額	峰山中学校	86人	86千円	大宮中学校	35人	35千円	網野中学校	14人	14千円	丹後中学校	19人	19千円	弥栄中学校	28人	28千円	久美浜中学校	6人	6千円	計	188人	188千円				
学校名	対象生徒数	補助金額																													
峰山中学校	86人	86千円																													
大宮中学校	35人	35千円																													
網野中学校	14人	14千円																													
丹後中学校	19人	19千円																													
弥栄中学校	28人	28千円																													
久美浜中学校	6人	6千円																													
計	188人	188千円																													
			成果・課題	自転車通学をする生徒を対象としたヘルメットの購入支援を行うことで、通学の安全確保と保護者の負担軽減を図ることができた。																											

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局					
	項	02 小学校費							118,630千円	119,686千円	1,056千円	99.1 %	
	目	01 小学校管理費											(参考)当初予算額
	事業	03 小学校施設改修事業											
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源											
目的	小学校施設における改修工事等を行い、児童が安全に、安心して学校生活を送ることができる教育環境を整備する。												
主要な事務・事業の概要	○小学校トイレ洋式化工事（峰山・長岡）			85,592千円	○令和5年度以降工事にに向けた設計業務委託				12,786千円				
	<ul style="list-style-type: none"> 工事監理委託料 3,241千円 工事請負費 81,911千円 浄化槽汚泥引抜運搬委託料 440千円 			<ul style="list-style-type: none"> 峰山小学校擁壁測量設計 7,634千円 大宮第一小学校空調設備等改修工事実施設計 2,310千円 高龍小学校寄宿舎解体撤去等工事実施設計 1,862千円 丹後小学校等トイレ洋式化工事実施設計 980千円 									
○その他改修等工事			20,252千円	<table border="1"> <tr> <td>参考</td> <td>繰越明許費を除いた最終予算額</td> <td>118,676千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実質的な予算執行率</td> <td>99.9%</td> </tr> </table>				参考	繰越明許費を除いた最終予算額	118,676千円		実質的な予算執行率	99.9%
参考	繰越明許費を除いた最終予算額	118,676千円											
	実質的な予算執行率	99.9%											
<ul style="list-style-type: none"> 丹後小学校職員室エアコン更新工事 902千円 いさなご小学校体育館放送設備改修工事 1,087千円 弥栄小学校児童昇降口屋上防水工事 809千円 宇川小学校高圧気中開閉器取替工事 438千円 大宮第一小学校高圧ケーブル更新工事 978千円 丹後小学校高圧受電設備等更新工事 495千円 いさなご小学校第一家庭科室エアコン設置工事 1,175千円 宇川小学校給食調理室エアコン改修工事 1,265千円 丹後小学校下処理室エアコン改修工事 946千円 各小学校施設改修工事ほか23件 12,157千円 			<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度への繰越事業 1,010千円 いさなご小学校普通教室設置事業 令和5年5月完了 										
			成果・課題	○峰山、長岡各小学校のトイレ洋式化工事を行うなど、児童の安全・安心を最優先に施設整備を行うことにより、良好な教育環境を整えることができた。 ○令和3年3月に策定した学校施設の長寿命化計画に基づき、計画的な改修を実施する必要がある。									

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	02 小学校費	30,990千円	31,465千円	475千円	98.4%		
	目	01 小学校管理費				(参考)当初予算額	課	教育総務課
事業	07 小学校施設管理事業	27,025千円						
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		使用料	公有財産使用料		8千円		
目的	学校施設の適切な維持管理により、良好な学習環境の確保を図る。		市債	小学校施設整備事業債（合併特別債）		600千円		
			主な財源					
主要な事務・事業の概要	○施設等修繕費ほか		13,950千円	○施設修繕のための原材料、消耗品		361千円		
	・校舎、体育館、給食調理室、消防設備、遊具等の修繕他			・グラウンド用山土、砂、体育館用ドレッシングオイル、修繕用木材等				
	○各種検査等手数料		555千円	○網野北小学校運動場芝生維持管理経費		1,577千円		
	・浄化槽法定検査、貯水槽法定検査、漏水調査手数料、剪定木処理手数料			・芝生肥料、芝刈機用燃料、芝刈機修繕、補植用芝生及び芝生用土購入 芝生目土作業委託料、損害保険料、乗用芝刈機購入（1台）				
○建物火災保険料		1,013千円						
○施設保守管理等委託料（14業務）		13,384千円						
・デマンド監視業務、消防設備等保守点検、浄化槽維持管理、遊具点検 電気設備保守管理、エレベーター保守点検、給食用リフト保守点検、 学校警備、プール循環保守点検、給食施設消毒等業務、雑木伐採、 貯水槽等保守点検、グリストラップ処理、給排水設備保守点検								
○施設用地借上料		150千円						
・いさなご小学校（学童農園用地ほか 751.22㎡）			成果・課題		○法令等に基づいた定期点検を行うなど、施設の適切な維持管理により、 学校運営を円滑に行うことができた。 ○老朽化した施設が多い中、良好な教育活動を行うため、安全性・機能性の 確保に努め、今後も適切な維持管理を行う必要がある。			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	03 中学校費	12,756千円	12,757千円	1千円	99.9%		
	目	01 中学校管理費				(参考)当初予算額	課	教育総務課
事業	03 中学校施設改修事業	18,600千円						
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		国補	新型307カイン感染症対応地方創生臨時交付金		700千円		
目的	中学校施設における改修工事等を行い、生徒が安全に、安心して学校生活を送ることができる教育環境を整備する。		市債	中学校施設整備事業債（過疎対策債）		2,500千円		
			市債	中学校施設整備事業債（緊急防災・減災事業債）		3,400千円		
主要な事務・事業の概要	○久美浜中学校屋上消火補給水槽取替工事		1,287千円	○令和5年度工事にに向けた業務委託		5,957千円		
	○その他改修等工事		5,512千円	・丹後中学校等トイレ改修工事実施設計業務委託		2,551千円		
	・大宮中学校テニスコート法面改良等工事		880千円	・京丹後市立中学校体育館LED化等工事実施設計業務委託		3,406千円		
	・大宮中学校フェンス改修等工事		469千円					
・網野中学校グラウンドフェンス改修工事		411千円						
・丹後中学校給食室エアコン更新工事		1,045千円						
・弥栄中学校会議室エアコン更新工事		702千円						
・弥栄中学校ランチルーム照明改修工事		355千円						
・久美浜中学校屋上防水工事		973千円						
・久美浜中学校屋上給水管改修工事		677千円						
			成果・課題		○生徒の安全・安心を最優先に施設整備を行うことにより、良好な教育環 境を整えることができた。 ○令和3年3月に策定した学校施設の長寿命化計画に基づき、計画的な改修 を実施する必要がある。			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	03 中学校費	10,237千円	10,389千円	152千円	98.5%		
	目	01 中学校管理費				(参考)当初予算額	課	教育総務課
	事業	07 中学校施設管理事業				9,786千円		
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実	使用料				公有財産使用料		7千円
目的	学校施設の適切な維持管理により、良好な学習環境の確保を図る。		主な財源					
主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○施設等修繕費 3,789千円 <ul style="list-style-type: none"> ・校舎、体育館、給食調理室、消防設備等の修繕 ○各種検査、手数料 33千円 <ul style="list-style-type: none"> ・貯水槽法定検査 ○建物火災保険料 558千円 ○施設保守管理等委託料（10業務） 4,096千円 <ul style="list-style-type: none"> ・デマンド監視業務、消防設備等保守点検、雑木伐採、遊具点検 電気設備保守管理、給食用リフト保守点検、学校警備、給食施設消毒等業務、貯水槽保守点検、グリストラップ処理 ○施設用地借上料 1,455千円 <ul style="list-style-type: none"> ・弥栄中学校（給食棟、テニスコート用地 4,922㎡） 			<ul style="list-style-type: none"> ○施設修繕のための原材料、消耗品 306千円 <ul style="list-style-type: none"> ・グラウンド用土、砂、体育館用ドレッシングオイル等 		成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○法令等に基づいた定期点検を行うなど、施設の適切な維持管理により、学校運営を円滑に行うことができた。 ○老朽化した施設が多い中、良好な教育活動を行うため、安全性・機能性の確保に努め、今後も適切な維持管理を行う必要がある。 	

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	02 小学校費	159,820千円	164,878千円	5,058千円	96.9%		
	目	01 小学校管理費				(参考)当初予算額	課	学校教育課
	事業	02 小学校管理運営事業				152,932千円		
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実	諸収入				小学校施設光熱水費利用負担金		56千円
目的	適正な学校運営や教育環境の充実に取り組み、小学校における円滑な教育活動を実施する。		主な財源					
主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○会計年度任用職員（学校用務員）任用経費（13人） 34,351千円 <ul style="list-style-type: none"> ・報酬 24,085千円 ・期末手当 4,360千円 ・共済費（社会保険料、労災保険料、雇用保険料） 4,617千円 ・費用弁償 1,289千円 ○需用費 113,877千円 <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費、燃料費（事務用品、用紙、灯油ほか） 29,153千円 ・食糧費、印刷製本費（来客用茶、卒業証書ほか） 415千円 ・電気代 63,706千円 ・水道料 20,526千円 ・修繕費（印刷機等の修繕） 77千円 ○役員費 5,346千円 <ul style="list-style-type: none"> ・電話代、郵送料 3,867千円 ・手数料（ピアノ調律、マシン調整ほか）・リサイクル料 1,479千円 ○委託料 592千円 <ul style="list-style-type: none"> ・理科薬品廃棄処分、害虫駆除委託料 			<ul style="list-style-type: none"> ○使用料及び賃借料 3,289千円 <ul style="list-style-type: none"> ・テレビ受信料、ガス警報器使用料 250千円 ・コピー機借上料、印刷機借上料 3,039千円（うち、コピー機16台中10台を更新） ○備品購入費 1,756千円 <ul style="list-style-type: none"> ・保健器具、児童用イス、電話機、シュレッダーほか ○負担金、補助及び交付金 609千円 <ul style="list-style-type: none"> ・校長会、教頭会、教務主任会ほか各種団体負担金 		成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○教育環境の整備や維持管理など、児童が安全に安心して学ぶことのできる学校づくりに取り組み、小学校における円滑な教育活動を実施することができた。 ○老朽化したコピー機を更新し、校務の効率化を推進した。 ○より充実した教育環境の整備と学校施設の効率的な管理運営に努めていく必要がある。 	

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	03 中学校費	71,335千円	73,723千円	2,388千円	(参考)当初予算額	64,375千円	96.7%				
	目	01 中学校管理費										
	事業	02 中学校管理運営事業										
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実								課	学校教育課		
目的	適正な学校運営や教育環境の充実に取り組み、中学校における円滑な教育活動を実施する。		主な財源									
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員（学校用務員）任用経費（6人）		11,859千円	○委託料		139千円						
	・報酬		8,499千円	・理科薬品廃棄処分、害虫駆除委託料								
	・期末手当		1,696千円	○使用料及び賃借料		603千円						
	・共済費（社会保険料、労災保険料、雇用保険料）		1,203千円	・テレビ受信料、ガス警報器使用料		89千円						
・費用弁償		461千円	・コピー機借上料、印刷機借上料		514千円							
○需用費		53,665千円	（うち、コピー機4台中1台を更新）									
・消耗品費、燃料費（事務用品、用紙、灯油ほか）		13,446千円	○備品購入費		1,490千円							
・食糧費、印刷製本費（来客用茶、卒業証書ほか）		194千円	・生徒用イス、電話機更新、シュレッダーほか									
・電気代		31,750千円	○負担金、補助及び交付金		1,028千円							
・水道料		8,190千円	・校長会、教頭会、教務主任会ほか各種団体負担金									
・修繕費（印刷機等の修繕）		85千円										
○役員費		2,551千円	成果・課題		○教育環境の整備や維持管理など、生徒が安全に安心して学ぶことのできる学校づくりに取り組み、中学校における円滑な教育活動を実施することができた。 ○より充実した教育環境の整備と学校施設の効率的な管理運営に努めていく必要がある。							
・電話代、郵送料		1,842千円										
・手数料（ピアノ調律、ミシン調整ほか）		709千円										

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	05 保健体育費	33,133千円	33,770千円	637千円	(参考)当初予算額	35,776千円	98.1%				
	目	04 学校給食費										
	事業	02 網野給食センター管理運営事業										
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実								課	学校教育課		
目的	網野地域の小学校及び中学校に栄養バランスの取れた給食を提供し、児童生徒の心身の健全な発達に寄与する。		市債		学校給食センター整備事業債（過疎対策債）		400千円					
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員任用経費（調理補助員7人、事務補助員1人）		15,308千円	○浄化槽維持管理委託、浄化槽法定検査手数料		1,310千円						
	○給食調理及び施設維持経費等		10,880千円	○検便検査、その他検査		395千円						
	・消耗品費（厨房用消耗品ほか）		1,654千円	○その他（電話代、保険料等、電気設備保守管理委託ほか）		946千円						
	・燃料費（ボイラー用灯油、ガス、配送車燃料）		3,956千円									
・光熱水費（電気、水道代）		5,270千円										
○修繕料		3,299千円										
・厨房内調理機器修理		56千円										
・施設修理（ボイラー設備ほか）		2,893千円										
・車両点検、車検修理（配送車3台、軽トラック1台）		350千円										
○備品購入費		995千円	成果・課題		○網野町域の小中学校の学校給食を効率的に調理し、栄養バランスの取れた安全・安心な給食を提供することができた。 ○安全・安心な給食の提供を維持するため、老朽化が進む設備・備品等について計画的な更新及び修繕を行っていく必要がある。							
・食器類		497千円										
・業務用冷蔵庫（1台）		498千円										

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局						
	項	05 保健体育費	4,953千円	17,807千円	12,854千円	27.8%								
	目	04 学校給食費				(参考)当初予算額	課	教育総務課						
	事業	05 学校給食センター施設整備事業				49,754千円								
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	市債		学校給食センター整備事業債（過疎対策債）		4,800千円						
目的	「学校給食衛生管理基準」に適合し、食物アレルギー対応を考慮した、より衛生的で安全性を持つ給食施設を整備する。													
主要な事務・事業の概要	○新網野学校給食センター施設整備 4,953千円 ・現網野学校給食センター解体工事設計業務委託料 4,300千円 ・建築確認手数料 653千円		<table border="1"> <tr> <td>参考</td> <td>繰越明許費を除いた最終予算額</td> <td>4,954千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実質的な予算執行率</td> <td>99.9%</td> </tr> </table>						参考	繰越明許費を除いた最終予算額	4,954千円		実質的な予算執行率	99.9%
	参考	繰越明許費を除いた最終予算額	4,954千円											
	実質的な予算執行率	99.9%												
■令和5年度への繰越事業 12,853千円 ・新網野学校給食センター整備事業 令和5年6月完了 （基本設計・実施設計業務委託）		※新網野学校給食センターの共用開始：令和7年度（予定）												
				成果・課題	「学校給食衛生管理基準」に適合し、食物アレルギー対応を考慮した、より衛生的で安全性を持つ給食施設を整備するため、新しい網野学校給食センター建設に向けた設計業務を進めることができた。									

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局									
	項	05 保健体育費	496千円	549千円	53千円	90.3%											
	目	04 学校給食費				(参考)当初予算額	課	学校教育課									
	事業	50 学校給食一般経費				929千円											
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源														
目的	学校給食における衛生管理の徹底を図るとともに、献立研究会の活発な活動を促し、衛生管理や栄養面等での充実を図る。																
主要な事務・事業の概要	○衛生管理の徹底 481千円 学校給食衛生管理基準に基づく給食調理施設の衛生管理を徹底するため、各種検査を実施するとともに、衛生対策関連の消耗品の種類や内容を統一して、一括購入・供給を行った。		<table border="1"> <tr> <td></td> <td>衛生用消耗品購入</td> <td>411千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>給食調理員等検便検査</td> <td>63千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>給食用食材細菌検査等</td> <td>7千円</td> </tr> </table>							衛生用消耗品購入	411千円		給食調理員等検便検査	63千円		給食用食材細菌検査等	7千円
		衛生用消耗品購入	411千円														
	給食調理員等検便検査	63千円															
	給食用食材細菌検査等	7千円															
○栄養士負担金 15千円 ・京都府栄養士会負担金																	
				成果・課題	○学校給食全般における衛生管理の徹底及び給食献立の研究を進めることで、衛生管理と栄養面での充実につながった。 ○給食調理施設の衛生管理はもとより、学校関係者や給食従事者に対する安全教育を徹底するとともに、各種検査の充実を図り、より安全・安心な学校給食を実施していく必要がある。												

予 算 科 目	款	11 災害復旧費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	03 文教施設災害復旧費	1,573千円	1,573千円	0千円	100.0%			
	目	01 公立学校施設災害復旧費				(参考)当初予算額			
	事業	01 公立学校施設災害復旧事業				0千円			
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源		諸収入 市有建物損害共済金		473千円		
目的	台風11号及び台風14号の強風等により被災した学校施設の復旧を図る。								
主要な 事務・ 事業の 概要	○工事請負費		1,573千円						
	しんざん小学校体育館屋上防水災害復旧工事		385千円						
		大宮第一小学校管理棟屋上防水災害復旧工事	561千円						
		久美浜中学校屋外トイレ屋上防水災害復旧工事	627千円						
				成果・課題	被災した公立学校施設を復旧することにより施設の機能回復を図ることができた。				

予 算 科 目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																																																														
	項	02 小学校費	60,714千円	62,850千円	2,136千円	96.6%																																																																
	目	02 小学校教育振興費				(参考)当初予算額																																																																
	事業	04 小学校スクールサポート等設置事業				83,252千円																																																																
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源		府補 きょうと地域連携交付金（スクールサポート等設置事業）		27,211千円																																																															
目的	スクールサポーターを配置し、児童一人ひとりの課題・特性を的確に把握し、よりきめ細やかな指導に努めるとともに、円滑な授業を実施する。																																																																					
主要な 事務・ 事業の 概要	○会計年度任用職員（スクールサポーター）任用経費（31人）		60,706千円	配置一覧																																																																		
	・報酬		41,872千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>介護</th> <th>講師</th> <th>学校名</th> <th>介護</th> <th>講師</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山</td> <td>5人</td> <td>-</td> <td>橘</td> <td>1人</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>いさなご</td> <td>1人</td> <td>-</td> <td>丹後</td> <td>1人</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>しんざん</td> <td>1人</td> <td>-</td> <td>宇川</td> <td>-</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>大宮第一</td> <td>4人</td> <td>2人</td> <td>吉野</td> <td>1人</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>大宮南</td> <td>2人</td> <td>-</td> <td>弥栄</td> <td>1人</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>網野北</td> <td>2人</td> <td>-</td> <td>久美浜</td> <td>2人</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>網野南</td> <td>3人</td> <td>-</td> <td>高龍</td> <td>2人</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>島津</td> <td>1人</td> <td>-</td> <td>かぶと山</td> <td>1人</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td colspan="3">計</td> <td>28人</td> <td>3人</td> </tr> </tbody> </table>						学校名	介護	講師	学校名	介護	講師	峰山	5人	-	橘	1人	-	いさなご	1人	-	丹後	1人	-	しんざん	1人	-	宇川	-	1人	大宮第一	4人	2人	吉野	1人	-	大宮南	2人	-	弥栄	1人	-	網野北	2人	-	久美浜	2人	-	網野南	3人	-	高龍	2人	-	島津	1人	-	かぶと山	1人	-				計			28人
学校名	介護	講師	学校名	介護	講師																																																																	
峰山	5人	-	橘	1人	-																																																																	
いさなご	1人	-	丹後	1人	-																																																																	
しんざん	1人	-	宇川	-	1人																																																																	
大宮第一	4人	2人	吉野	1人	-																																																																	
大宮南	2人	-	弥栄	1人	-																																																																	
網野北	2人	-	久美浜	2人	-																																																																	
網野南	3人	-	高龍	2人	-																																																																	
島津	1人	-	かぶと山	1人	-																																																																	
			計			28人	3人																																																															
・期末手当		7,970千円																																																																				
・共済費（社会保険料、労災保険料、雇用保険料）		8,890千円																																																																				
・費用弁償		1,974千円																																																																				
<スクールサポーター内訳>																																																																						
・介護職員		28人（1日7時間、週5日勤務）																																																																				
・講師		1人（1日7時間、週5日勤務）																																																																				
		2人（1日2時間、週2・3日勤務）																																																																				
○事務費（校外学習引率に伴う旅費、入場料、参加負担金等）		8千円																																																																				
		成果・課題																																																																				
		○必要に応じてスクールサポーターを配置することで、よりきめ細かな指導及び円滑な授業を実施することができた。 ○児童一人ひとりの課題・特性を把握するとともに、必要とする学校への教職員の配置を引き続き京都府に要請する。あわせて、不足する学校に対して効果的なスクールサポーターの配置に努めていく必要がある。																																																																				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																																											
	項	03 中学校費							41,152千円	42,696千円	1,544千円	96.3%																																							
	目	02 中学校教育振興費										(参考)当初予算額																																							
	事業	04 中学校ｽｸｰﾙｽﾎﾟｰﾀｰ等設置事業										50,196千円																																							
課	学校教育課																																																		
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	府補 部活動指導員配置促進事業補助金(2/3) 2,296千円 府補 きょうと地域連携交付金(ｽｸｰﾙｽﾎﾟｰﾀｰ等設置事業) 16,000千円																																															
目的	スクールサポーターを配置し、生徒一人ひとりの課題・特性を的確に把握し、よりきめ細やかな指導に努めるとともに、円滑な授業を実施する。																																																		
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員(スクールサポーター)任用経費(24人) 41,152千円		配置一覧																																																
	<ul style="list-style-type: none"> 報酬 29,542千円 期末手当 4,818千円 共済費(社会保険料、労災保険料、雇用保険料) 5,014千円 費用弁償 1,778千円 		<table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>介護</th> <th>小中一貫コーディネーター</th> <th>心の教室相談員</th> <th>部活動指導員</th> <th>事務補助員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山中学校</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td rowspan="6">3人</td> <td>1人</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>大宮中学校</td> <td>-</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>網野中学校</td> <td>2人</td> <td>1人</td> <td>2人</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>丹後中学校</td> <td>-</td> <td>1人</td> <td>2人</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>弥栄中学校</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>2人</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>久美浜中学校</td> <td>-</td> <td>1人</td> <td>2人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4人</td> <td>6人</td> <td>3人</td> <td>10人</td> <td>1人</td> </tr> </tbody> </table>						学校名	介護	小中一貫コーディネーター	心の教室相談員	部活動指導員	事務補助員	峰山中学校	1人	1人	3人	1人	-	大宮中学校	-	1人	1人	-	網野中学校	2人	1人	2人	-	丹後中学校	-	1人	2人	-	弥栄中学校	1人	1人	2人	-	久美浜中学校	-	1人	2人	1人	計	4人	6人	3人	10人	1人
	学校名	介護	小中一貫コーディネーター	心の教室相談員	部活動指導員	事務補助員																																													
峰山中学校	1人	1人	3人	1人	-																																														
大宮中学校	-	1人		1人	-																																														
網野中学校	2人	1人		2人	-																																														
丹後中学校	-	1人		2人	-																																														
弥栄中学校	1人	1人		2人	-																																														
久美浜中学校	-	1人		2人	1人																																														
計	4人	6人	3人	10人	1人																																														
<ul style="list-style-type: none"> <スクールサポーター内訳> 介護職員 4人(1日7時間、週5日勤務) 講師(小中一貫コーディネーター) 6人(1日7時間45分、週4日勤務) 心の教室相談員 3人(1日7時間、週5日勤務) 部活動指導員 10人(1日1時間、年間300時間勤務) 事務補助員 1人(1日6時間、週5日勤務) 		<p>○必要に応じてスクールサポーターを配置することで、よりきめ細かな指導及び円滑な授業を実施することができた。</p> <p>○心の教室相談員を配置し、生徒が悩みを話せる環境を整えることで、生徒の不安を和らげることができた。また、部活動指導員を配置することで、部活動の質の向上と部活動当教諭の負担軽減を図ることができた。</p> <p>○生徒一人ひとりの課題・特性を把握するとともに、必要とする学校への教職員の配置を引き続き京都府に要請する。あわせて、不足する学校に対して効果的なスクールサポーターの配置に努めていく必要がある。</p>																																																	

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																																																								
	項	01 教育総務費							3,000千円	3,258千円	258千円	92.0%																																																				
	目	02 事務局費										(参考)当初予算額																																																				
	事業	21 共同学校事務室運営事業										3,258千円																																																				
課	学校教育課																																																															
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源																																																													
目的	学校事務処理の適正化及び標準化、効率化、学校マネジメント機能の強化等を図るため、全学園に共同学校事務室を設置し、学校の教育力・組織力の向上を推進する。																																																															
主要な事務・事業の概要	○共同学校事務室運営経費 3,000千円		共同で実施する業務																																																													
	<ul style="list-style-type: none"> 学校経営全体に関わる業務(各種文書の收受発出など情報管理) 教職員人事に関する業務(給与、旅費、福利厚生、服務等に関する業務) 教育活動に直接関係する業務(学校予算、備品、就学援助等に関する業務) そのほか校内体制に応じて参画する業務等 		<table border="1"> <thead> <tr> <th>学園別</th> <th>消耗品費</th> <th>印刷製本費</th> <th>修繕料</th> <th>通信運搬費</th> <th>備品購入費</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山</td> <td>179千円</td> <td>-</td> <td>109千円</td> <td>17千円</td> <td>406千円</td> <td>711千円</td> </tr> <tr> <td>大宮</td> <td>18千円</td> <td>34千円</td> <td>26千円</td> <td>11千円</td> <td>252千円</td> <td>341千円</td> </tr> <tr> <td>網野</td> <td>255千円</td> <td>33千円</td> <td>107千円</td> <td>22千円</td> <td>345千円</td> <td>762千円</td> </tr> <tr> <td>丹後</td> <td>88千円</td> <td>-</td> <td>29千円</td> <td>6千円</td> <td>199千円</td> <td>322千円</td> </tr> <tr> <td>弥栄</td> <td>61千円</td> <td>-</td> <td>4千円</td> <td>-</td> <td>297千円</td> <td>362千円</td> </tr> <tr> <td>久美浜</td> <td>87千円</td> <td>-</td> <td>11千円</td> <td>5千円</td> <td>399千円</td> <td>502千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>688千円</td> <td>67千円</td> <td>286千円</td> <td>61千円</td> <td>1,898千円</td> <td>3,000千円</td> </tr> </tbody> </table>						学園別	消耗品費	印刷製本費	修繕料	通信運搬費	備品購入費	合計	峰山	179千円	-	109千円	17千円	406千円	711千円	大宮	18千円	34千円	26千円	11千円	252千円	341千円	網野	255千円	33千円	107千円	22千円	345千円	762千円	丹後	88千円	-	29千円	6千円	199千円	322千円	弥栄	61千円	-	4千円	-	297千円	362千円	久美浜	87千円	-	11千円	5千円	399千円	502千円	合計	688千円	67千円	286千円	61千円	1,898千円	3,000千円
	学園別	消耗品費	印刷製本費	修繕料	通信運搬費	備品購入費	合計																																																									
峰山	179千円	-	109千円	17千円	406千円	711千円																																																										
大宮	18千円	34千円	26千円	11千円	252千円	341千円																																																										
網野	255千円	33千円	107千円	22千円	345千円	762千円																																																										
丹後	88千円	-	29千円	6千円	199千円	322千円																																																										
弥栄	61千円	-	4千円	-	297千円	362千円																																																										
久美浜	87千円	-	11千円	5千円	399千円	502千円																																																										
合計	688千円	67千円	286千円	61千円	1,898千円	3,000千円																																																										
<ul style="list-style-type: none"> <経費内訳> 		<p>○異なる様式や処理方法を統一し共有することで、学校事務の標準化を進めることができた。</p> <p>○事務処理状況の確認や、帳簿類の相互チェックを行い、事務の適正な執行を図るとともに、事務職員のスキルアップにつなげることができた。</p> <p>○役割を分担し、学校規模による事務量の差を調整することで、安定した学校事務に取り組むことができた。</p> <p>○令和4年度から全学園に設置した共同学校事務室について、課題の共有等を行い、更なる事務の標準化の推進を図る。</p>																																																														

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	02 児童福祉費	4,269千円	4,685千円	416千円	91.1%		
	目	01 児童福祉総務費				(参考)当初予算額		
	事業	50 児童福祉総務一般経費				1,036千円		
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進	府補 京都府子育て世帯緊急応援事業補助金 167千円						
目的	児童福祉業務を円滑に遂行するために必要な一般経費		主な財源					
主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○普通旅費 3千円 <ul style="list-style-type: none"> ・担当者会議等職員旅費 ○需用費 622千円 <ul style="list-style-type: none"> ・公用車燃料代(3台)及び車検(1台)費用等 618千円 ・府子育て世帯緊急応援事業(図書カード配付)ラベルシート代 4千円 ○役務費 248千円 <ul style="list-style-type: none"> ・車検費用、自動車損害保険料等 85千円 ・府子育て世帯緊急応援事業(図書カード配付)郵送料 163千円 ○使用料及び賃借料 5千円 <ul style="list-style-type: none"> ・有料道路通行料 ○公課費 34千円 <ul style="list-style-type: none"> ・公用車重量税(1台) ○令和3年度国庫支出金返還金 2,233千円 <ul style="list-style-type: none"> ・子ども・子育て支援交付金返還金 2,015千円 ・保育対策総合支援事業費補助金返還金 215千円 ・子ども・子育て支援体制整備交付金返還金 3千円 	<ul style="list-style-type: none"> ○会計年度任用職員任用経費(産休育休代替)(1人) 702千円 <ul style="list-style-type: none"> ・報酬、社会保険料 ○賠償金 330千円 <ul style="list-style-type: none"> ・裁判にかかる賠償金 ○遅延損害金 92千円 <ul style="list-style-type: none"> ・上記賠償金にかかる遅延損害金 		成果・課題	支出内容を精査しながら、児童福祉業務を適切に遂行することができた。			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	4,162千円	4,237千円	75千円	98.2%		
	目	01 教育委員会費				(参考)当初予算額		
	事業	50 教育委員会一般経費				3,999千円		
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実							
目的	地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、教育委員会を運営する。		主な財源					
主要な事務・事業の概要	<p>教育委員の報酬、会議参集や管内研修に係る費用弁償及び丹後地方教育委員会連合会負担金を支出した。教育委員会会議は、定例会12回、臨時会4回及び委員協議会2回を開催するとともに、会議のペーパーレス化を図るため、教育委員用タブレットを導入した。</p> <p>また、市内学校をはじめ社会教育施設等の管内視察や、各種研修及び先進地視察の活動を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教育委員報酬(5人:年度途中の交替1人含む) 3,528千円 ○教育委員視察研修等経費 115千円 <ul style="list-style-type: none"> ・近畿市町村教育委員会研修大会(オンライン開催) ・先進地視察研修 <ul style="list-style-type: none"> 関西学院千里国際中等部・高等部及び併設校(大阪府箕面市) ※研修テーマ:グローバル人材育成について ・各種研修、会議出席等 ○備品購入費 233千円 <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員用タブレット購入(4台) 	○丹後地方教育委員会連合会負担金 286千円		成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○管内視察をはじめ先進地視察を実施し実情の把握に努め、積極的な活動を行うことにより幅広い識見を得ることができた。 ○教育課題や重要施策等に適切に対応するため、委員協議会を開催し、調査・研修及び意見交換を行うことができた。 ○課題解決に向け、地域の意向や教育現場等の状況を把握し、教育施策や教育委員会の意思決定に反映させるため、今後も研修機会及び管内視察等の充実を図る必要がある。 			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局						
	項	01 教育総務費	8,339千円	11,886千円	3,547千円	70.1%								
	目	02 事務局費				(参考)当初予算額	課	教育総務課						
	事業	50 事務局一般経費				9,254千円								
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	繰入金 韓哲・まちづくり夢基金繰入金 1,080千円 諸収入 市有自動車損害共済金 26千円										
目的	教育委員会事務局の円滑な運営及び公用車の適正な維持管理を行うほか、全国部活動特別入学選抜により市内の高等学校に入学する生徒を応援する補助金を交付し、生徒の就学支援及び地域の活性化を図った。													
主要な事務・事業の概要	○事務局運営に係る経費		5,166千円	【学校教育課分】										
	<ul style="list-style-type: none"> 会計年度任用職員任用経費（事務補助員2人） 3,746千円 教育委員会活動点検評価謝金（2人） 40千円 各種協議会等出張旅費（教育長、職員等） 327千円 教育委員会交際費 37千円 激励金（2団体、個人49人） 610千円 （スポーツ等の国際大会・全国大会に出場する選手を激励カヌー、軽音楽、レスリングほか11競技等） 書籍、消耗品費ほか 406千円 		1,586千円	○新たな教育・人材育成の在り方に関する検討会（準備会） 381千円 協議会委員謝金、費用弁償（2回分）										
	○公用車の維持管理経費		1,080千円	<table border="1"> <tr> <td>参考</td> <td>繰越明許費を除いた最終予算額</td> <td>8,860千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実質的な予算執行率</td> <td>94.1%</td> </tr> </table>						参考	繰越明許費を除いた最終予算額	8,860千円		実質的な予算執行率
参考	繰越明許費を除いた最終予算額	8,860千円												
	実質的な予算執行率	94.1%												
○高等学校全国募集入学生応援補助金		126千円	<ul style="list-style-type: none"> 公用車6台（うち車検2台）の燃料費、保険料、車検等経費 高等学校全国募集入学生応援補助金 月額15,000円×12月×6人 1,080千円 対象校：京都府立丹後緑風高等学校 部活動名：レスリング部 各協議会、団体への負担金 126千円 全国都市教育長協議会負担金、定時制通信教育振興会負担金、京都府都市教育長協議会参加負担金、安全運転管理者講習会負担金ほか 											
成果・課題			<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度への繰越事業 3,026千円 公用車更新事業 令和5年9月完了予定 ○教育委員会事務局の運営及び公用車管理について、経費削減に努めながら効率的な執行ができた。 ○高等学校全国募集入学生応援補助金により、生徒の就学支援をはじめ、地域で培われたスポーツ風土を生かした部活動を応援することで人材の育成及び地域の活性化に寄与することができた。 ○新たな教育・人材育成の在り方に関する検討会（準備会）の実施により、令和5年度開催の検討会での円滑な協議につなげることができた。 											

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	01 教育総務費	3,310千円	3,378千円	68千円	97.9%			
	目	02 事務局費				(参考)当初予算額	課	教育総務課	
	事業	12 学校跡施設管理事業				2,006千円			
基本計画	30 行財政改革大綱（効率的・効果的な財政運営）		主な財源						
目的	学校再配置により閉校となった学校施設の維持管理を行うとともに、利活用の推進を図る。								
主要な事務・事業の概要	○学校跡施設等修繕料（5施設）		435千円						
	<ul style="list-style-type: none"> 電気設備、貯水槽、フェンス等の修繕を行い、施設の適正管理を図った。 修繕施設：旧黒部小学校、旧田村小学校、旧豊米小学校、旧橋小学校、旧宇川中学校 		1,228千円						
	○維持管理経費		1,647千円						
成果・課題	○工事請負費		232千円	<ul style="list-style-type: none"> 旧黒部小学校屋根補修工事 715千円 旧黒部小学校屋根下地改修工事 121千円 旧豊米小学校消火栓ポンプ水槽更新工事 440千円 旧橋小学校外部水銀灯撤去等工事 139千円 学校跡施設消防設備不備指摘事項修繕工事 232千円 					
			学校跡施設の民間による利活用を進めることができた。また、施設等の状況を考慮しながら、利活用が進むよう今後も検討を進めていく必要がある。						

予 算 科 目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	138,341千円	220,466千円	82,125千円	62.7%		
	目	02 事務局費				(参考)繰越予算額	課	教育総務課
	事業	12 学校跡施設管理事業（繰越）				220,466千円		
基本計画	30 行財政改革大綱（効率的・効果的な行財政運営）		市債	旧小学校施設解体事業債（合併特別債）		121,100千円		
目的	学校再配置により閉校となった学校施設の維持管理を行うとともに、利活用の推進を図る。		主な財源					
主要な事務・事業の概要	○旧湊小学校校舎棟解体事業 137,043千円 ・工事請負費 125,538千円 ・委託料（工事監理、建物調査、地下水水質調査） 9,559千円 ・補償金（地盤変動による建物等の損傷補償） 1,946千円 ○旧橋小学校低圧化工事 1,298千円 ・工事請負費							
			成果・課題		○施設の老朽化が進み、利活用ができない旧湊小学校校舎及びプール棟施設について除却することができた。また、旧橋小学校の利活用を進めるための環境整備ができた。 ○施設等の状況を考慮しながら、利活用が進むよう今後も検討を進めていく必要がある。			

予 算 科 目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	1,712千円	1,713千円	1千円	99.9%		
	目	02 事務局費				(参考)当初予算額	課	教育総務課
	事業	13 学校教育施設整備基金				1,604千円		
基本計画	30 行財政改革大綱（効率的・効果的な行財政運営）		財産収入	土地建物貸付収入	1,710千円			
目的	学校跡施設の建物貸付料をもとに、学校教育施設の整備等を進めることを目的とした学校教育施設整備基金への積立金		財産収入	学校教育施設整備基金利子収入	2千円			
主要な事務・事業の概要	○学校教育施設整備基金積立金 1,712千円 建物賃貸借料を基に国が算出した国庫納付金相当額以上を積み立てる ・旧大宮第三小学校分 284千円 ・旧三津小学校分 1,326千円 ・旧橋小学校分 100千円 ・基金利子分 2千円 （単位：千円）							
	令和3年度末 現在高	令和4年度中増減額			令和4年度末 現在高			
①	繰入金	運用利子	積立金	①-②+③+④				
6,909	0	2	1,710	8,621				
		成果・課題						